

## 都道府県\_森林環境税の比較

### 事業総額と事業数

都道府県名	事業総額(千円)	事業数
福岡県	904,271	6
神奈川県	5,873.000	6(11)
佐賀県	274,270	6
高知県	254,185	5(18)

# 福岡県

## 2 森林の有する公益的機能の発揮に向けた施策

- (1) 荒廃森林の整備 . . . . . P 2
- (2) 間伐実施体制の構築 . . . . . P10
- (3) 松くい虫防除対策 . . . . . P14

## 3 <sup>もり</sup>森林を守り育てる気運の向上に向けた施策

- (1) <sup>もり</sup>森林づくり活動の公募 . . . . . P17
- (2) 展示林の整備 . . . . . P34
- (3) 森林の重要性の情報発信 . . . . . P37

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/attachment/114389.pdf>

## 1 基金及び事業費

令和元年度の福岡県森林環境税基金及び福岡県森林環境税事業費の状況については、次表のとおりです。なお、基金残高については翌年度以降の事業に活用することとなります。

### (1) 福岡県森林環境税基金

(単位千円)

区分	R1 決算見込額	H30 決算額
前年度基金残高(①)	904,271	346,467
積立額(②)	1,498,607	1,473,503
取崩額(③)	1,498,198	915,699
基金残高(①+②-③)	904,681	904,271

### (2) 福岡県森林環境税事業費

(単位千円)

区分	R1 決算見込額	H30 決算額
森林の有する公益的機能の発揮に向けた施策 (荒廃森林再生費) (④)	1,421,525	839,756
荒廃森林の整備	1,336,208	761,710
間伐実施体制の構築	36,224	31,144
松くい虫防除対策	49,093	46,901
森林を守り育てる気運の向上に向けた施策 (県民参加の森林づくり推進費) (⑤)	76,673	75,943
森林づくり活動の公募	20,299	16,550
展示林の整備	47,602	48,409
森林の重要性の情報発信	8,772	10,984
計 (④+⑤)	1,498,198	915,699

注) 四捨五入の関係で計と内訳が一致しないことがある。

R1 決算については、議決されていないため見込額を記載している。

## 2 森林の有する公益的機能の発揮に向けた施策

### (1) 荒廃森林の整備

平成30年度から令和9年度の10年間で約1万haの森林の荒廃が進むことが懸念されており、これを未然に防止する必要があることから、福岡県森林環境税を活用し強度間伐<sup>※</sup>等の森林整備に取り組んでいます。

令和元年度の森林整備の面積は、前年度に比べ33%増の1,482haとなりました。また、森林整備に必要な作業路を14.7km開設しました。

※強度間伐：公益的機能を長期的に発揮させるため、間伐率を通常より高く設定した間伐のこと。  
風害等を受ける恐れのある森林では、間伐を2回に分けて実施する場合があります。

### ○令和元年度実績

農林事務所	森林の整備 (ha)	森林の 公的取得 (ha)	計 (ha)	作業路 (km)	[参考] 平成30年度 森林の整備 実績 (ha)
福岡	250	-	250	9.7	214
朝倉	153	-	153	2.0	109
八幡	98	-	98	1.0	51
飯塚	369	-	369	2.0	232
筑後	339	-	339		347
行橋	273	-	273		162
計	1,482	-	1,482	14.7	1,114

注) 四捨五入の関係で計と内訳が一致しないことがある。

令和元年度荒廃森林整備事業の市町村別実績一覧表

農林事務所	森林を有する市町村	森林の整備 (ha)	森林の 公的取得 (ha)	計 (ha)	作業路 (km)	[参考] 平成30年度 森林の整備 実績 (ha)	
福岡	福岡市	41	-	41	-	34	
	筑後野市	20	-	20	-	17	
	春日市	-	-	-	-	-	
	大野城市	13	-	13	-	10	
	宗像市	1	-	1	-	20	
	太宰府市	4	-	4	-	-	
	古賀市	22	-	22	2.1	-	
	福津市	5	-	5	-	5	
	糸島市	60	-	60	0.1	60	
	那珂川市	13	-	13	-	6	
	宇美町	6	-	6	-	7	
	篠栗町	21	-	21	3.0	9	
	志免町	-	-	-	-	-	
	須恵町	9	-	9	-	5	
	新宮町	14	-	14	2.3	-	
	久山町	20	-	20	2.2	34	
	粕屋町	2	-	2	-	8	
	小計	250	-	250	9.7	214	
	朝倉	久留米市	20	-	20	-	-
		小郡市	-	-	-	-	-
うきは市		53	-	53	2.0	33	
朝倉市		57	-	57	-	56	
筑前町		7	-	7	-	5	
東峰村		16	-	16	-	15	
小計		153	-	153	2.0	109	
八幡	北九州市	88	-	88	1.0	46	
	中間市	-	-	-	-	-	
	芦屋町	-	-	-	-	-	
	水巻町	-	-	-	-	-	
	岡垣町	10	-	10	-	6	
	遠賀町 <sup>※1</sup>	-	-	-	-	-	
小計	98	-	98	1.0	51		
飯塚	直方市	1	-	1	-	-	
	飯塚市	32	-	32	-	-	
	田川市 <sup>※2</sup>	-	-	-	-	1	
	宮若市	43	-	43	-	-	
	嘉麻市	40	-	40	-	32	
	小竹町 <sup>※2</sup>	-	-	-	-	-	
	鞍手町	7	-	7	-	9	
	桂川町	2	-	2	-	2	
	香春町	13	-	13	-	-	
	添田町	205	-	205	2.0	168	
	糸田町	-	-	-	-	-	
	川崎町	7	-	7	-	-	
	大任町	1	-	1	-	-	
	赤村	15	-	15	-	19	
福智町	3	-	3	-	-		
小計	369	-	369	2.0	232		
筑後	大牟田市	0	-	0	-	1	
	八女市	300	-	300	-	318	
	みやま市	2	-	2	-	6	
	広川町	36	-	36	-	22	
小計	339	-	339	-	347		
行橋	行橋市	5	-	5	-	3	
	豊前市	65	-	65	-	28	
	苅田町	8	-	8	-	4	
	みやこ町	165	-	165	-	83	
	上毛町	-	-	-	-	-	
	築上町	29	-	29	-	44	
小計	273	-	273	-	162		
計	54市町村	1,482	-	1,482 (43市町村)	14.7 (8市町)	1,114 (33市町村)	

注) 四捨五入の関係で計と内訳が一致しないことがある。

※1の町は令和元年度に侵入竹伐採のみ実施。

※2の市町は令和元年度に特定調査(対象森林を特定する調査)のみ実施。

令和元年度荒廃森林整備事業の実施状況

福岡農林事務所管内の実施例

【概要】

施行箇所	糟屋郡篠栗町大字命出
事業内容	強度間伐(間伐率35%) 1/1回※
樹種	ヒノキ
林齢	54年生
面積	0.44ha

【位置図】



〈施行前〉



〈施行直後〉

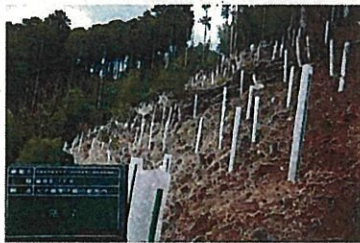
【概要】

施行箇所	糟屋郡篠栗町大字篠栗
事業内容	広葉樹植栽
植栽樹種	クヌギ・コナラ・イロハモミジ
面積	0.90ha

【位置図】



〈施行前〉



〈施行直後〉

※強度間伐を1回で実施する場合を1/1回、2回に分けて実施する場合の1回目を1/2回と表記。

朝倉農林事務所管内の実施例

【概要】

施行箇所	うきは市浮羽町山北
事業内容	強度間伐(間伐率30%) 1/2回
樹種	スギ
林齢	41年生
面積	0.23ha

【位置図】



〈施行前〉



〈施行直後〉

【概要】

施行箇所	うきは市浮羽町新川
事業内容	作業路開設
幅員	1.5m

【位置図】



〈施行前〉



〈施行直後〉

八幡農林事務所管内の実施例

【概要】

施行箇所	北九州市八幡東区大字大蔵
事業内容	強度間伐(間伐率37%) 1/2回
樹種	ヒノキ
林齢	26年生
面積	0.29ha

【位置図】



〈施行前〉



〈施行直後〉

【概要】

施行箇所	北九州市八幡東区大字大蔵
事業内容	強度間伐(間伐率37%) 1/2回 侵入竹伐採
樹種	スギ
林齢	56年生
面積	0.05ha

【位置図】



〈施行前〉



〈施行直後〉

飯塚農林事務所管内の実施例

【概要】

施行箇所	田川郡添田町大字津野
事業内容	強度間伐(間伐率30%) 1/2回
樹種	スギ
林齢	38年生
面積	1.40ha

【位置図】



〈施行前〉



〈施行直後〉

【概要】

施行箇所	嘉麻市桑野
事業内容	侵入竹伐採
樹種	スギ
林齢	73年生
面積	0.18ha

【位置図】



〈施行前〉



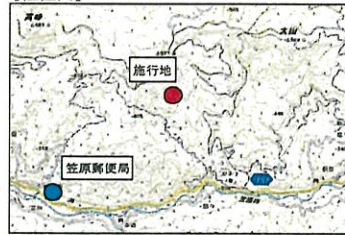
〈施行直後〉

筑後農林事務所管内の実施例

【概要】

施行箇所	八女市黒木町笠原
事業内容	強度間伐(間伐率30%) 1/2回
樹種	スギ
林齢	30年生
面積	0.33ha

【位置図】



〈施行前〉



〈施行直後〉

【概要】

施行箇所	八女郡広川町大字長延
事業内容	強度間伐(間伐率30%) 1/2回
樹種	ヒノキ
林齢	25年生
面積	0.31ha

【位置図】



〈施行前〉



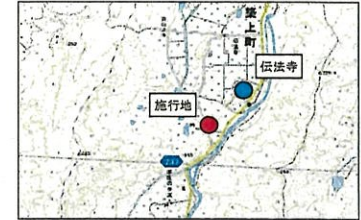
〈施行直後〉

行橋農林事務所管内の実施例

【概要】

施行箇所	築上郡築上町大字伝法寺
事業内容	強度間伐(間伐率30%) 1/2回
樹種	ヒノキ
林齢	39年生
面積	0.26ha

【位置図】



〈施行前〉



〈施行直後〉

【概要】

施行箇所	豊前市大字川内
事業内容	強度間伐(間伐率35%) 1/2回
樹種	ヒノキ
林齢	35年生
面積	0.32ha

【位置図】



〈施行前〉



〈施行直後〉

(2) 間伐実施体制の構築

平成30年度から令和9年度の10年間では公益的機能を発揮するものの、その後、発揮できなくなる恐れのある森林(約2万ha)において間伐を繰り返す体制を構築するため、自伐林家<sup>※</sup>の育成や自伐用機材の導入支援等を行っています。

※自伐林家：自分の持ち山等で、伐採から搬出、出荷までを自ら行う林家のこと。

①自伐林家育成研修

自伐林家として活動するために必要となるチェーンソーの操作や伐木・造材などの基礎技術が習得できる「自伐林家育成研修」を実施しました。

○研修期間：令和元年8月23日～令和2年2月10日のうち延べ20日間

○受講者：10名

○研修内容

日程	講座名	内容
令和元年8月23日(金)	林業基礎	研修全体のオリエンテーション、森林・林業の基礎知識や現状等に係る講義
8月24日(土)～25日(日)	刈払機基礎	刈払機の構造や基本操作に係る講義・実習
9月21日(土)	チェーンソー基礎①	チェーンソーの構造と基本操作等の基礎的な知識と技術に係る講義・実習 ※22日に予定していた研修は10/30、11/21、11/23の3日間に分けて補講を実施
9月22日(日) 【台風のため日程変更】		
10月12日(土)～14日(月)	チェーンソー基礎② 手道具	チェーンソーの目立てとロープワーク等の基礎的な知識と技術に係る講義・実習
11月2日(土)～4日(月)	チェーンソー応用①	チェーンソーの応用操作等(丸太を使ったチェーンソーワーク)の知識と技術に係る講義と実習
12月7日(土)～8日(日)	チェーンソー応用②	搬出を考慮した伐木・造材・林内作業車等の知識に係る講義・実習
12月21日(土)～22日(日)	作業道基礎	作業道の基礎知識や基本設計、バックホウの基本操作に係る講義・実習
令和2年2月8日(土)～10日(月)	チェーンソー応用③	かかり木処理や大径木伐採等の伐木作業に係る講義・実習
2月29日(土)～3月1日(日) 【新型コロナの影響により中止】	作業道応用	作業道の基本土工、路体路面の補強、排水等のほかバックホウの応用操作に係る講義・実習 ※新型コロナウイルス収束後に補講を予定

注) 上記研修とは別に「小型車両系建設機械」の特別教育(2日間)を外部機関で受講

令和元年度自伐林家育成研修の実施状況



林業基礎講座



刈払機基礎講座



チェーンソー基礎①講座



チェーンソー応用①講座



チェーンソー応用②講座



作業道基礎講座



②自伐用機材の導入

自伐林家が間伐を行うために必要となるチェーンソー、林内作業車、小型バックホウなどの機材の導入を支援しました。

○令和元年度実績

市町村	実施主体	導入した機材	数量
朝倉市	甘木林業後継者クラブ	グラップル付き小型バックホウ	1台
	柘木林業経営研究会	林内作業車	1台
嘉麻市	嘉麻市林業研究会	グラップル付き小型バックホウ	1台
		林内作業車	1台
		チェーンソー	5台

○使用状況

- ・甘木林業後継者クラブ



グラップル付き小型バックホウと  
林内作業車



林内作業車

- ・柘木林業経営研究会



グラップル付き小型バックホウ

- ・嘉麻市林業研究会



チェーンソー



グラップル付き小型バックホウ

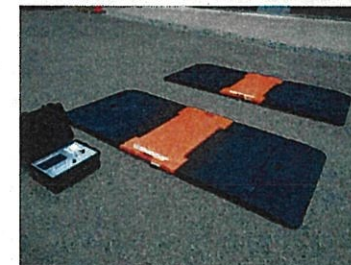
③集出荷場の整備

自伐林家が手軽に間伐材を搬出し収入を得られるようにするため、集出荷場で間伐材の重量が計量できる移動式トラックスケールの整備を支援しました。

○令和元年度実績

市町村	実施主体	整備内容	数量
嘉麻市	嘉麻市原木集出荷場管理協議会	移動式トラックスケール	1セット

○使用状況



移動式トラックスケール

(3) 松くい虫防除対策

海岸防風林における松くい虫被害の沈静化を図るため、松くい虫防除対策を実施する市町への支援を行っています。

令和元年度の駆除対策への支援は、平成30年度から始めた予防対策の効果もあって、前年度に比べて13%減の394㎡となりました。

また、予防対策への支援は、前年度と比べてほぼ横ばいで、薬剤散布が221ha、樹幹注入が1,247本となりました。

その結果、松くい虫被害量は、前年度に比べて10%減の615㎡まで減少しました。

○令和元年度実績  
(駆除対策)

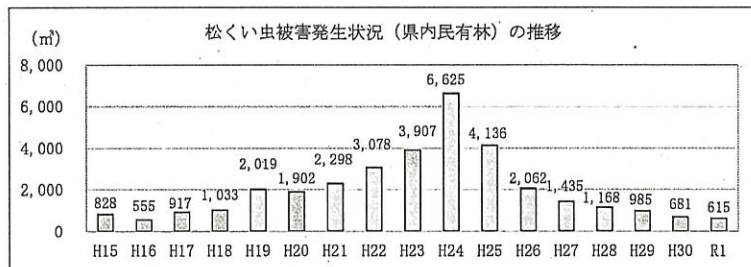
区分	実施量	実施市町	[参考] 平成30年度 実施量
伐倒駆除	394㎡	福岡市、宗俊市、古賀市、福津市、糸島市、芦屋町、築上町 (7市町)	453㎡

注) 福岡県森林環境税の支援対象は、松くい虫被害を受けた松のうち、海岸沿いの高度公益機能森林及び地区保全森林としている。

(予防対策)

区分	実施量	実施市町	[参考] 平成30年度 実施量
薬剤散布	空中散布	21ha 宗俊市、福津市、築上町 (3市町)	21ha
	地上散布	200ha 福岡市、宗俊市、古賀市、福津市、糸島市、新宮町、北九州市、芦屋町、行橋市、苅田町 (10市町)	200ha
樹幹注入	1,247本	福岡市、春日市、古賀市、福津市 (4市)	1,299本

※薬剤を注入した松の本数



令和元年度松くい虫防除対策強化事業の実施状況

防除対策の実施例

【概要】	
施行箇所	古賀市久保 外
事業内容	伐倒駆除

【位置図】



〈伐採状況〉



〈搬出状況〉

【概要】	
施行箇所	古賀市久保 外
事業内容	樹幹注入

【位置図】



〈注入状況〉



〈注入状況〉

防除対策の実施例

【概要】

施行箇所	福津市 白石浜
事業内容	薬剤散布(空中散布)

【位置図】



〈散布状況〉



〈散布状況〉

【概要】

施行箇所	京都府苅田町 白石海岸
事業内容	薬剤散布(地上散布)

【位置図】



〈散布状況〉



〈散布状況〉

3 森林を守り育てる気運の向上に向けた施策

(1) 森林づくり活動の公募

森林を県民共有の財産として守り育てる気運の向上を図るため、森林づくり活動公募事業を実施し、県民参加による森林づくりを支援しました。

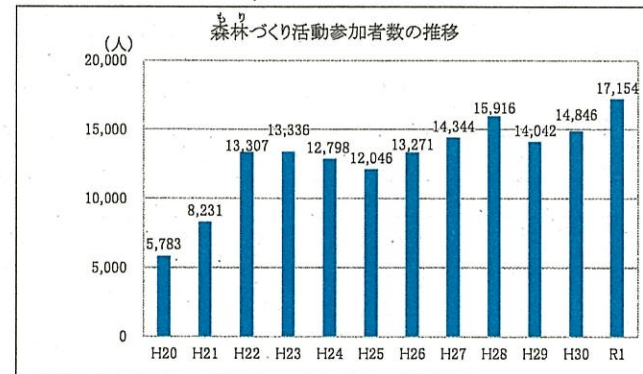
令和元年度の公募事業における活動団体数は、前年度に比べて16団体増加し60団体となりました。また、参加者数は前年度に比べて2,308人増加し17,154人となりました。

( ): 昨年度との比較

農林事務所		活動の規模*				合計	
		50人以上 100人未満	100人以上 300人未満	300人以上 600人未満	600人以上		
福岡	活動団体数	2	11	4	3	20	(+4)
	参加者数	305	2,641	1,527	3,478	7,951	(+625)
朝倉	活動団体数	1	4	1	-	6	(±0)
	参加者数	74	848	317	-	1,239	(△451)
八幡	活動団体数	-	1	1	1	3	(±0)
	参加者数	-	303	296	576	1,175	(+110)
飯塚	活動団体数	4	6	2	1	13	(+3)
	参加者数	269	901	474	1,873	3,517	(+1,619)
筑後	活動団体数	3	5	2	1	11	(+3)
	参加者数	203	967	727	737	2,634	(△173)
行橋	活動団体数	6	1	-	-	7	(+6)
	参加者数	477	161	-	-	638	(+578)
計	活動団体数	16	28	10	6	60	(+16)
	参加者数	1,328	5,821	3,341	6,664	17,154	(+2,308)

\*応募段階での参加予定人数による区分。

事業実施団体によって、活動の規模と実際の参加者数は異なる場合がある。



令和元年度森林づくり活動公募事業実績一覧表

農林事務所	企画番号	事業実施団体	事業内容			実績	
			活動名称	活動内容	実施場所(市町村)	参加者数(人)	補助金額(円)
福岡	福1	公益社団法人福岡県造園協会	東王寺山公園植栽ボランティア	植栽、森林環境学習	古賀市	113	300,000
	福2	糸多植林会	糸多浦植林会保金活動事業	植栽、下草刈り、除伐	福岡市	545	464,000
	福3	天山ふれあい会	天山(あまやま)の里山づくり	除伐、散策道整備、自然観察会	筑紫野市	151	300,000
	福4	油山社中	油山の森林整備活動	除伐、下草刈り	福岡市	122	129,000
	福5	なかまわ木育交遊事業実行委員会	なかまわ木育交遊事業	木工教室、こけ工作	那珂川市	209	192,000
	福6	特定非営利活動法人はかた夢草原の会	博多湾沿岸における緑地の整備・保金活動	松葉かき、間伐、植栽	福岡市	130	364,000
	福7	森と海の再生交流事業実行委員会	森と海の再生交流事業	植栽	福岡市	153	229,000
	福8	特定非営利活動法人里まらタイムルコミュニティ	森を愛し、未来へいきていきたる森林を授けよう～里山の緑化維持活動と循環型社会を目指して～	下草刈り、侵入竹伐採、自然体験、竹編工、リース作り、ミニ門松作り	糸島市、福岡市	804	838,000
	福9	特定非営利活動法人古都・大宰府の風を育む会	大宰府市内の文化財保護区域内の児童里山整備活動	竹林伐採、下草刈り	大宰府市	219	300,000
	福10	宮司地区森づくり推進協議会	宮司・森の森整備・保金活動	松葉かき、下草刈り、植栽	福岡市	535	215,000
	福11	北部九州里山再生プロジェクト	ふくま峰山山菜づくりプロジェクト	自然環境調査、竹林伐採、自然体験活動、ワークショップ	福岡市	317	496,000
	福12	福岡地域森づくり推進協議会	ふくま海岸松林保金活動	松葉かき、下草刈り、植栽	福岡市	1,716	748,000
	福13	津屋崎地域森づくり推進協議会	津屋崎地域海岸線の松林保金管理と住民と密着した親しみやすい環境を創る。	除伐、下草刈り、植栽	福岡市	958	585,000
	福14	公益社団法人おののじょうトラスト協会	里山活用・保金プロジェクト事業	植栽、ピクトープ作り、ナイチャークラブ	大野城市	961	287,000
	福15	那珂川町竹プロジェクト	那珂川市安堵台竹林整備	竹林整備	那珂川市	135	184,000
	福16	福岡工作の森	木育おもしろの森ひろば	木育、木工体験	糸島市、福岡市	278	207,000
	福19	糸島市林業研究クラブ	糸島林業塾2019	林業体験	糸島市	131	300,000
	福20	福岡県立西王寺市民の森協議会	西王寺市民の森における森林環境教育・木育活動	森林環境教育、木育活動	宇美町	231	300,000
	福21	コモダの森	コモダの森 整備活動	林業体験、森林教育	福岡市	96	170,000
	福22	福岡県竹林サミット実行委員会	第13回 福岡県竹林サミットin那珂川	基調講演、活動発表	那珂川市	147	300,000
朝倉	朝1	グリーンウェイ朝倉水部の森実行委員会	第8回 グリーンウェイ朝倉水部の森創り	植栽	朝倉市	14	300,000
	朝2	久留米ちとせライオンズクラブ	第13回環境創生事業(ボランティア植樹)	植栽	久留米市	203	300,000
	朝3	特定非営利活動法人三沢道の森を育む会	県有地「三沢道の森」の整備・保金再生及び森林環境教育活動	下草刈り、除伐、自然観察、木ころキャンディづくり	小都市	416	286,000
	朝4	福岡県林業研究グループ運営会	森まれ！森林の仲間たち	安全講習会、林業体験(シイタケ植菌・採取)、木工(マイ箸づくり)	久留米市	317	495,000
	朝5	花立山を楽しむ会	花立山の里山保全整備活動	下草刈り、除伐、木工教室、植栽、自然観察活動	小都市	215	300,000
八幡	八1	NPO法人あゆみの森共同保育園	みんなの遊び場～あゆみの森	下草刈り、竹林整備、門松作り、植栽	北九州市	303	235,000
	八2	三里松原の森保金対策協議会	三里松原 松葉かき・松苗植樹	植栽、松葉かき	岡垣町	576	1,000,000
	八3	特定非営利活動法人北九州ヒートアップネットワーク研究会	平成竹取祭(竹林保金活動)	竹林整備、竹製品普及、竹編工、門松づくり	北九州市	296	402,000

注) 太枠囲みの事業は、20～31ページで活動内容の詳細を掲載

農林事務所	企画番号	事業実施団体	事業内容			実績		
			活動名称	活動内容	実施場所(市町村)	参加者数(人)	補助金額(円)	
筑後	筑1	福岡県環境文化懇話会	空城ダム公園植栽ボランティア	植栽、森林環境学習	飯塚市	112	300,000	
	筑2	井見さくら会	井見峠付近さくらの木整備を主として山の環境を守る(不燃 投棄防止)	下草刈り、除伐、植栽	香春町	66	200,000	
	筑3	遠賀川源流の森づくり推進会議	遠賀川源流の森づくり活動	下草刈り、自然観察、関係村グッズ研究開発	嘉穂市	10	221,000	
	筑4	特定非営利活動法人遠賀川流域住民の会	源流の森再生応援団	竹林整備、竹取づくり、森林環境学習	嘉穂市	146	292,000	
	筑5	特定非営利活動法人風治さつきの会	彦山川上中流域の里山保全	竹林伐採、竹炭投入、森林と初川の啓発	彦田町、田川市	165	299,000	
	筑6	龍王・山・里の川会	森林のはたらきと林業	森林環境教育、木工体験、シイタケ栽培体験	飯塚市	464	437,000	
	筑7	一般財団法人サンビレッジ宮	竹林を竹炭と地域の活性化に	竹林伐採、竹炭作成、竹炭石けんづくり	飯塚市	188	298,000	
	筑10	フォレストセーバー「正人どんの森」	森と遊ぼう！	植栽、ツリークライミング、森林ヨガ	嘉穂市	129	244,000	
	筑12	筑豊動物研究会	自然観察会(森のはたらき、生き物を知ろう)	森林環境学習、自然観察会	飯塚市、嘉穂市、嘉穂市	161	275,000	
	筑13	日吉藝術小学校実行委員会	日吉藝術小学校 木工学科	林業体験、木工体験	宮若市	72	200,000	
	筑14	特定非営利活動法人アートもん	そでだり木とおそふ！まなぶ！ふれあう！	木育バスツアー 木もくまづくり in そでだ	彦田町	1,873	849,000	
	筑15	筑豊の自然を楽しむ会	筑豊里山保全プロジェクト	下草刈り、竹林整備	宮若市	62	200,000	
	筑16	地域美化づくり推進協議会	日田系山線沿線の植栽及び美化活動	松の植栽、下草刈り	香春町	69	200,000	
	筑前	筑1	福岡県有明海漁協関係者連絡会	有明海再生のためのボランティア活動	下草刈り	八女市	55	75,000
		筑2	NPO法人がんばりよるよ星野村	再生地区(池の山)周辺の森林整備・里山保全活動	除伐、下草刈り、自然観察、植栽	八女市	385	414,000
		筑3	おおむた環境ネットワーク	ふれあいの森の整備・森林整備指導者育成事業	森林整備、自然体験活動	大牟田市	342	500,000
筑4		倉永山保金会の会	森林の整備活動	下草刈り、除伐	大牟田市	146	300,000	
筑5		社会福祉法人あひるき会	山で遊ぼう！	自然観察、リースづくり	大牟田市	236	291,000	
筑6		さのこ村協議会	地域産材を活用した木育イベントの開催	木育体験	八女市	737	750,000	
筑8		森花会	森林ボランティア&インストラクター養成講座	林業実習、講座	八女市、大牟田市	290	297,000	
筑9		山川町北間・甲田の森保全活動組織	山川町北間・甲田の森保全活動組織	下草刈り、雑木伐採、竹伐採	みやま市	75	192,000	
筑10		センスオブワンダー自然体験教室	高橋山「坂広場」復活プロジェクト	下草刈り、間伐、自然体験アクティビティ	広川町	179	300,000	
筑11		つながるツリーハウス	つながるツリーハウス事業	ツリーハウス制作	八女市	116	300,000	
筑12		SAKUSAKU	森と人を元気にする活動	巻き絡し間伐、自然体験	八女市	73	173,000	
行橋		行1	京都森林組合	ドローンで間伐機づくり活動	自然観察、森林環境学習	みやこ町	60	139,000
	行2	ハローグリーン-けいらく	京築地区森林整備活動	除伐、枝打ち、間伐、里山林の整備	行橋市、羽田町、上毛町	70	190,000	
	行3	農事組合法人 今津の里	松林の整備活動	下草刈り、除伐	筑上町	72	200,000	
	行4	東高塚共有林組合	松林の整備活動	下草刈り、除伐	筑上町	55	200,000	
	行5	宇留津自治会	宇留津地区海岸線の整備活動	下草刈り、除伐	筑上町	161	300,000	
	行6	里山復興	里山林の再生活動	下草刈り、除伐、放牧竹林整備、侵入竹整備	行橋市	145	177,000	
行	京都森林研究グループ	伊良原ダム周辺の広葉樹植樹活動	自然観察、森林環境学習	みやこ町	75	182,000		
計(60団体)						17,154	19,441,000	

### 森林づくり活動公募事業の活動例

年度	令和元年度	企画番号	福5
活動名称	なかがわ木育交流事業		
活動区分	森林・林業の普及		
団体名	なかがわ木育交流事業実行委員会		
活動場所	那珂川市（ふれあいこども館）	補助金額	192,000円
活動の目的	子どもたちが幼少期から森林資源（那珂川市産ヒノキ材、林床から採集した苔）に触れることで森林の役割、良さを体験してもらう。併せて森林環境教育を行うことで、森林・林業の普及を行う。		
参加者数	209名		

活動実施日	主な活動実績
R1.10.20	森林環境教育、木工教室（椅子づくり）、こけ玉づくり教室を実施。

#### 状況写真



### 森林づくり活動公募事業の活動例

年度	令和元年度	企画番号	福19
活動名称	糸島林業塾2019		
活動区分	森林・林業の普及		
団体名	糸島市林業研究クラブ		
活動場所	糸島市大字山北	補助金額	300,000円
活動の目的	チェーンソーのメンテナンスや伐木集材等の実習を行い、自伐型林業に関心のある人々を育成することで、林業の振興と農林家の経営向上に資する。		
参加者数	131名		

活動実施日	主な活動実績
R1.11.9~11.10	チェーンソーのメンテナンスや使用方法、伐木に関する実習を実施（参加者37名）
R1.11.16~11.17	選木や間伐に関する実習を実施（参加者50名）
R1.11.30~12.1	造材や集材方法に関する実習を実施（参加者23名）
R1.12.14	チェーンソーによる丸太加工の実習を実施（参加者21名）

#### 状況写真



### 森林づくり活動公募事業の活動例

年度	令和元年度	企画番号	朝3
活動名称	県有地「三沢遺跡の森」の整備・保全再生活動及び森林環境教育		
活動区分	森林の整備・保全、森林・林業の普及		
団体名	特定非営利活動法人三沢遺跡の森を育む会		
活動場所	小郡市（三沢遺跡の森）	補助金額	286,000円
活動の目的	福岡県指定史跡「三沢遺跡」にある約12haの森林と九州歴史資料館のまわりにある森林（合わせて仮称：三沢遺跡の森という）において、県・地域住民による枝葉の整理や下草刈り等の整備・保全をする。また、自然豊かな森林を「環境教育」のフィールドとし、私たち人間にとって自然との共生がいかに大切かを理解する。あわせて、地域のシンボルとして「三沢遺跡の森」を位置づけ、県・地域住民でこの森を作り、育てることで、地域住民が入りやすい親しみのある憩いの森にする。		
参加者数	416名		

活動実施日	主な活動実績
R1. 4. 28～ R2. 3. 2	三沢遺跡の森全体を整備・下草刈り、樹木に絡みついている藨の除去、植苗木の植樹作業などを行った（参加者120名）
R1. 7. 28	夏休み自然体験活動「三沢遺跡の森・生き物探検隊」では三沢遺跡の森や草原を歩き、鳥や昆虫の生態と植物の関わりを学んだ（参加者120名）
R1. 10. 6	秋の山野草について、福岡県保健環境研究所の須田先生による研修会を開催した（参加者20名）
R1. 12. 15	冬休み自然体験活動 第1回「ハゼロウでクリスマスキャンドルを作ろう」ではハゼ罫の歴史を学び、キャンドルを作った（参加者99名）
R1. 12. 22	冬休み自然体験活動 第2回「ハゼロウでクリスマスキャンドルを作ろう」第1回定員オーバーで参加できなかった子供達や保護者（参加者57名）

#### 状況写真



下草刈り

倒木処理

生き物探検

秋の山野草を楽しむ会

ハゼロウでキャンドル

ハゼロウでキャンドル

### 森林づくり活動公募事業の活動例

年度	令和元年度	企画番号	朝4
活動名称	生まれ！森林の仲間たち		
活動区分	森林環境教育、その他（安全講習会）		
団体名	福岡県林業研究グループ連合会		
活動場所	久留米市（福岡県農林業総合試験場 資源活用研究センター）	補助金額	495,000円
活動の目的	①安全作業技術者養成講座（チェーンソー・ツリークライミング編）：森林ボランティアが行う活動中の事故を防ぐため、森林における活動を安全に指導できるリーダーの育成は重要であり、チェーン等の安全な操作や理論を学び指導者を養成する。 ②森林・林業学び塾：森林の働きや原木キノコ栽培による木材の利用などを学ぶ。 ③MYはし作り：スギの間伐材を利用し、間伐の重要性や木材利用の必要性や木材の需要拡大への理解を深める。		
参加者数	317名		

活動実施日	主な活動実績
R1. 10. 17～18	資源活用研究センター内において、一般公募した参加者により、樹木園内でのツリークライミング体験とチェーンソーの安全作業の講習会を実施した（参加者51名）
R1. 11. 23	資源活用研究センター内において、ふれあいフェスタに来場した一般客から参加者を募り、シイタケの駒打ち体験等の森林環境教育を実施した（参加者73名）
R1. 11. 23	資源活用研究センター内において、ふれあいフェスタに来場した一般客から参加者を募り、スギ間伐材を利用したはしづくりを体験させた（参加者193名）

#### 状況写真



ツリークライミング体験

記念撮影（ツリークライミング）

チェーンソーワーク

駒打ち体験

シイタケ狩り

MYはし作り

### 森林づくり活動公募事業の活動例

年度	令和元年度	企画番号	八2
活動名称	三里松原 松葉かき・松苗植樹		
活動区分	森林の整備・保全		
団体名	三里松原防風保安林保全対策協議会		
活動場所	岡垣町(三里松原)	補助金額	1,000,000円
活動の目的	地域住民などから広く参加を募り、松原を整備・再生しながら親しみを持ってもらうことで、町のシンボルである「三里松原」を町の宝として再認識してもらう。		
参加者数	576名		

活動実施日	主な活動実績
R1.12.8 R2.2.9	(松葉かき) 年2回実施。三里松原において、協議会が募った参加者により、松林内の松葉かきと集積所への運搬を行った。特に中学校の部活動生の参加が多く活気に溢れた(参加者312名)
R1.7.28 R1.12.8 R2.3.10	(松苗植樹) 植樹は年2回、下草刈りは複数回実施。協議会が募った地域の管理団体によって抵抗性クロマツの植樹と下草刈り作業が行われた(参加者264名)

#### 状況写真



### 森林づくり活動公募事業の活動例

年度	令和元年度	企画番号	八3
活動名称	平成竹取物語(竹林保全活動)		
活動区分	森林の整備・保全、森林・林業の普及		
団体名	特定非営利活動法人 北九州ビオトープ・ネットワーク研究会		
活動場所	北九州市(グリーンパーク、ひびきの南公園、北九州市立大学工学部、ひびきの市民センター)	補助金額	402,000円
活動の目的	竹林の整備を通して里山整備を指導できる人材へと市民を育成し、各地で見られる竹林問題への解決の糸口を探りながら竹林の価値を高める。		
参加者数	296名		

活動実施日	主な活動実績
R1.5.11 ~R2.3.14 全9回	(竹林保全活動) グリーンパークと、ひびきの南公園で定期的実施。事前に市民に募った参加者は、手鋸で散策路を整備しながら竹林内を間伐(参加者168名)
R1.8.31	(竹細工教室) 北九州市立大学工学部内にて、地域の年配の方が竹細工講師となり子供たちに昔ながらの竹を使った遊びや竹細工を教えた(参加者59名)
R1.6.7 ~R2.3.13 全4回	(青竹踏みの普及) 切り出した竹から同工学部内で青竹踏みを制作。青葉市民センターで竹踏み健康づくり講座を実施(参加者32名)
R1.12.21	(エコ門松づくり) ひびきの市民センターにて事前に募った参加者により環境に配慮した門松を制作。地域の竹林で間伐した竹を利用(参加者37名)

#### 状況写真



### 森林づくり活動公募事業の活動例

年度	令和元年度	企画番号	飯6
活動名称	森林の役割と里山保全		
活動区分	森林・林業の普及		
団体名	龍王・山・里・川の会		
活動場所	飯塚市（伊岐須小、鯉田小、菰田小）	補助金額	437,000円
活動の目的	小学校の総合学習での森林学習や間伐材を利用したイスづくり、シイタケ栽培を体験させることで、里山保全への関心を高める。		
参加者数	464名		

活動実施日	主な活動実績
R1.11.6	伊岐須小5年生を対象に、九州大講師による「森林の役割と里山保全」講義を実施した(参加者115名)
R1.12.5	伊岐須小5年生を対象に、間伐材を利用した椅子作りを行った(参加者115名)
R1.12.17	鯉田小4年生を対象に、間伐材を利用した椅子作りを行った(参加者51名)
R2.2.6	伊岐須小5年生を対象に、シイタケ栽培と管理の仕方を学習した。クヌギの原木に駒種を打ち付けた(参加者120名)
R2.2.14	菰田小2、3年生を対象に、シイタケ栽培と管理の仕方を学習した。クヌギの原木に駒種を打ち付けた(参加者63名)

#### 状況写真



説明を真剣に聞いてます！



森林学習 ふむふむ。



みんなで椅子づくり



うまくできるかな

### 森林づくり活動公募事業の活動例

年度	令和元年度	企画番号	飯14
活動名称	そえだDE木とあそぶ！まなぶ！ふれあう！		
活動区分	森林・林業の普及		
団体名	特定非営利活動法人アートもん		
活動場所	添田町（ひこさん花工房）	補助金額	849,000円
活動の目的	添田町内で木を身近に感じてもらえるように「木もくまつりinそえだ」における木工体験や、木育バスツアーを企画し、森林の大切さや環境とのつながりを図る。		
参加者数	1,873名		

活動実施日	主な活動実績
R1.10.5~10.6	ひこさん花工房において、「木もくまつりinそえだ」を2日間にわたり開催。ワークショップ開催や町内の自然について紙芝居等を実演(参加者 2日間1,836名)
R1.11.9	添田町内で植林、伐採等体験する「親子で木育バスツアー」を開催(参加者37名)

#### 状況写真



木もくまつりinそえだ

木工体験



木育バスツアー



### 森林づくり活動公募事業の活動例

年度	令和元年度	企画番号	筑6
活動名称	地域産材を活用した木育イベントの開催		
活動区分	森林・林業の普及		
団体名	きのこ村協議会		
活動場所	八女市黒木町 (八女市黒木体育センター)	補助金額	750,000円
活動の目的	「木育」とは、市民や児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、木材の良さやその利用の意義を学ぶ木材利用に関する教育活動。 多くの県民・市民の皆様、木のおもちゃに直に触れながら、木の温もりと優しさを感じてもらおう。		
参加者数	737名		

活動実施日	主な活動実績
R1.11.3	八女市黒木体育センターにおいて、市民や児童の森林や木材に対する親しみを深めるため、木のおもちゃ(木製遊具)で遊ぶ場をつくり、木の優しさやぬくもりに触れる体験を提供した(参加者737名)

#### 状況写真



いろいろな木のおもちゃ



自由に遊んでいます！



グリーンウッドワーク

### 森林づくり活動公募事業の活動例

年度	令和元年度	企画番号	筑12
活動名称	森と人を元気にする活動		
活動区分	森林の整備・保全、森林・林業の普及		
団体名	SAKUSAKU		
活動場所	八女市黒木町	補助金額	173,000円
活動の目的	整備が行き届いていない森林を巻き枯らし間伐することで、森林の再生を行う。 お話会(日本や世界の森林の状況、間伐の必要性、方法を話す)を行い、巻き枯らし間伐を普及させる。 魚釣り、川遊び、ネイチャークラフトなどの環境教育を行い、森林について知る機会、触れて楽しむ機会を作る。		
参加者数	73名		

活動実施日	主な活動実績
R1.5.26	ほほえみの山において、一般参加を募り、お話会、選木、巻き枯らし間伐、散策を実施(参加者16名)
R1.6.16	ほほえみの山において、一般参加を募り、お話会、選木、巻き枯らし間伐、散策を実施(参加者18名)
R1.8.11	ほほえみの山において、一般参加を募り、お話会、選木、巻き枯らし間伐、川遊びを実施(参加者27名)
R1.9.15	グリーンピア八女において、一般参加を募り、ヨガ、ネイチャークラフトを実施(参加者12名)

#### 状況写真



森でのお話会



みんなで巻き枯らし間伐



川遊び楽しみました

### 森林づくり活動公募事業の活動例

年度	令和元年度	企画番号	行5
活動名称	宇留津地区海岸林の整備活動		
活動区分	森林の整備・保全		
団体名	宇留津自治会		
活動場所	築上町(宇留津区有林 外)	補助金額	300,000円
活動の目的	宇留津地区の住民が、周防灘に面した宇留津地区海岸林の森林整備活動を行うことにより、住民が入りやすく親しみのある海岸林づくりを目指す。		
参加者数	161名		

活動実施日	主な活動実績
R1. 7. 7	宇留津区有林とその周辺海岸において、当団体会員により、草刈り機・手鎌での下草刈りと除伐を行った(参加者142名)
R1. 8. 3 R2. 2. 4	宇留津区有林とその周辺海岸において、当団体会員により、草刈り機・鉈での下草刈りと除伐を行った(参加者19名)

#### 状況写真



### 森林づくり活動公募事業の活動例

年度	令和元年度	企画番号	行6
活動名称	里山林の再生活動		
活動区分	森林の整備・保全、森林・林業の普及		
団体名	里山復帰		
活動場所	行橋市(下稗田山林)	補助金額	177,000円
活動の目的	侵入竹により荒廃した里山(雑木の林)を整備し、地域住民が親しめる竹林を取り戻す。		
参加者数	145名		

活動実施日	主な活動実績
R1. 5. 3~ R1. 12. 8全10回	下稗田の山林において、当団体会員に加え事前に募った参加者により、鎌や鉈・草刈り機等での下刈と不要木の伐採搬出などを行った(参加者92名)
R2. 1. 11~ R2. 3. 8全3回	下稗田の山林において、当団体会員に加え事前に募った参加者により、鎌や鉈・草刈り機等での下刈と不要木の伐採搬出作業などを行った。また、現地発生材を利用したコマ打ちや薪割りなどの体験学習も行った(参加者53名)

#### 状況写真

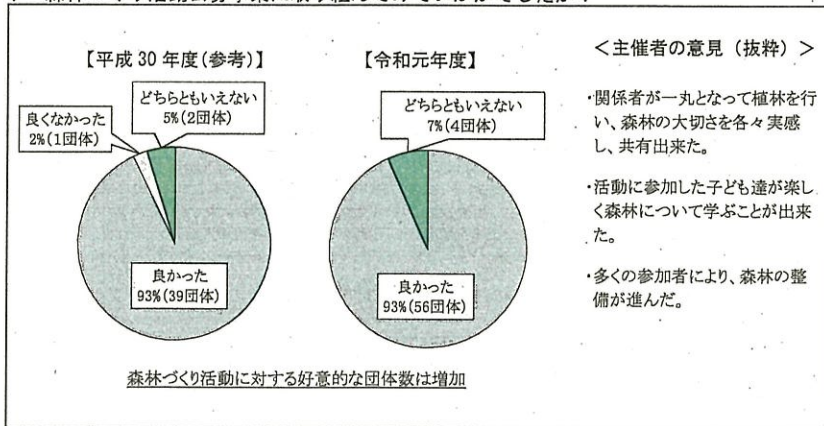


参考：令和元年度森林づくり活動公募事業実施団体へのアンケート結果

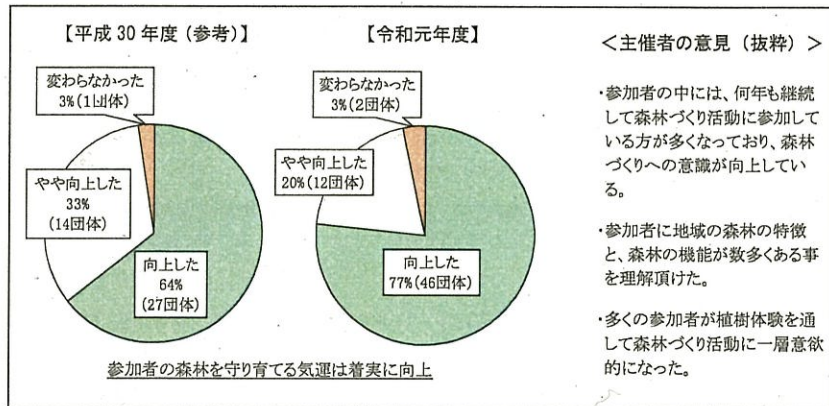
① 主催者の自己評価

令和元年度森林づくり活動公募事業を実施した団体に活動を通しての自己評価を行っていただきました。集計結果と主催者の意見（抜粋）は以下のとおりです。

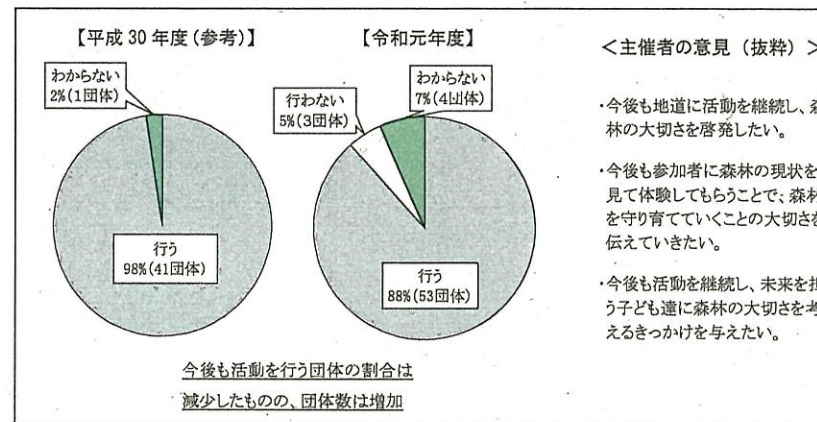
ア 森林づくり活動公募事業に取り組んでみていかがでしたか？



イ 参加者の「森林を守り育てる気運」は向上したと思われますか？



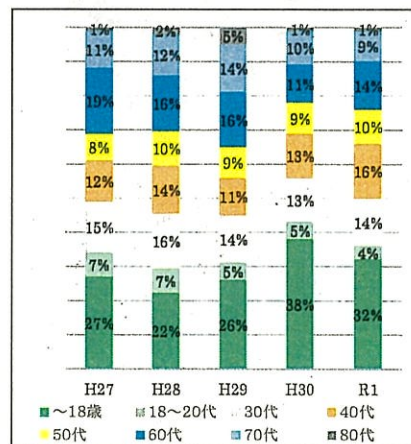
ウ 貴団体の森林づくり活動について、今後も活動を行いますか？



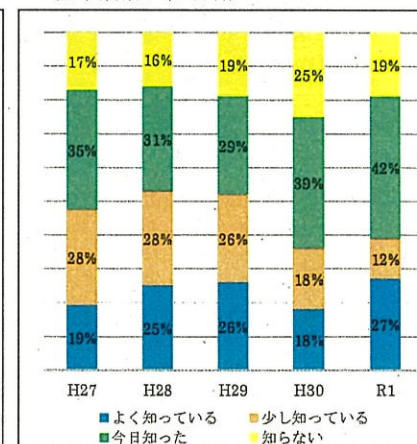
② 参加者へのアンケート

令和元年度森林づくり活動公募事業を実施した団体から、活動に参加したみなさんにアンケートにご協力いただきました。平成27年度からの集計結果は、以下のとおりです。

ア 年代をお答えください。(R1 回答数：3,942名)



イ 福岡県森林環境税を知っていますか？(R1 回答数：3,942名)



(2) 展示林の整備

日常的に森林や木との関わりのない県民が身近な場所でふれあえる環境をつくるため、市町村による展示林\*の整備に対して支援を行っています。

令和元年度は、6市9箇所において除伐や植栽などの整備が行われました。

※展示林：県民が森林や木に触れあう機会の提供を目的に、維持管理されている森林。

○令和元年度実績

農林事務所	市町村名	整備箇所	整備内容	事業量	計画期間
福岡	福岡市	油山市民の森 (福岡市南区大字桧原)	既存施設(ベンチ、緑台)の改修 ※森林の整備は、令和3～4年度に実施予定	70.7haの一部	H30～R4
	大野城市	大野城市総合運動公園 いこいの森中央公園 (大野城市大字乙金 外)	森林の整備 (除伐等)	0.20ha	R1～R3
	太宰府市	市民の森 (太宰府市大字観世音寺)	森林の整備 (除伐等)	0.10ha	H30～R2
	糸島市	真名子木の香ランド (糸島市二丈福井)	森林の整備 (除伐等)	0.57ha	R1～R2
八幡	北九州市	香月市民の森 (北九州市八幡西区船越)	森林の整備 (植栽等)	18.50haの一部	H30～R4
	北九州市	切妻市営林 (北九州市八幡西区大字永大丸)	森林の整備 (植栽等)	2.00ha	H30～R4
	北九州市	和布刈公園 (北九州市門司区門司)	森林の整備 (除伐)	25.00haの一部	H30～R4
	北九州市	企救自然遊歩道 (北九州市小倉北区黒原)	森林の整備 (除伐)	3.00ha	H30～R4
飯塚	飯塚市	飯塚市有林 (飯塚市仁保)	森林の整備 (除伐等)	4.55ha	H30～R2

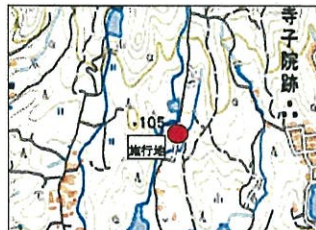
注) 太枠囲みの事業は、35～36 ページで実施状況の詳細を掲載


令和元年度展示林整備事業の実施状況

**【概要】**

市町村名	太宰府市
整備箇所	市民の森 (太宰府市大字観世音寺)
事業内容	森林の整備(除伐等)
事業量	0.10ha


**【位置図】**





【施行前】

➔





【施行後】

**【概要】**

市町村名	糸島市
整備箇所	真名子木の香ランド (糸島市二丈福井)
事業内容	森林の整備(除伐等)
事業量	0.57ha


**【位置図】**








【施行前】

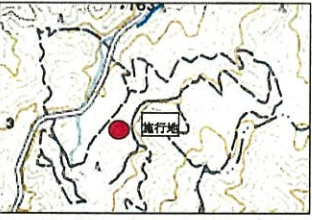
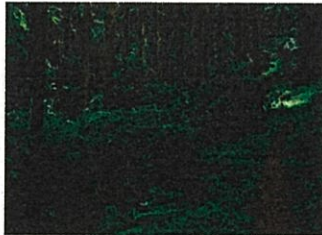

➔



【施行後】 案内標識の設置状況

【概要】		【位置図】	
市町村名	北九州市		
整備箇所	香月市民の森 (北九州市八幡西区船越)		
事業内容	森林の整備(植栽等)		
事業量	18.50haの一部		
			
【施行前】		【施行後】	

【概要】		【位置図】	
市町村名	飯塚市		
整備箇所	飯塚市有林 (飯塚市仁保)		
事業内容	森林の整備(除伐等)		
事業量	4.55ha		
			
【施行前】		【施行後】	

### (3) 森林の重要性の情報発信

森林に親しむ機会を増やすことで県民の森林に対する理解を深めるとともに、福岡県森林環境税を活用した事業の透明性の確保を図るため、以下の内容で情報発信事業を実施しました。

#### [県民の森林に対する理解を深める取組]

区分	内容
各種イベントでの情報発信	グリーンフェスティバル、ウッドフェスタ、ふれあいフェスタでのパネル展示の実施
安全講習会	森林づくり活動実施者に対するチェーンソーや刈払機等の講習会の実施 (令和元年度 9回開催、受講者数:延べ158名)
森林環境教育	小学生を対象とした森林環境教育への講師派遣 (令和元年度 12回開催、派遣者数:延べ86名、受講者数:682名)
その他	リーフレット、ホームページ等による福岡県森林環境税を活用した事業の紹介

#### [福岡県森林環境税を活用した事業の透明性を高める取組]

区分	内容
福岡県森林環境税検討委員会の開催	第1回:平成30年度福岡県森林環境税による事業の実績評価 第2回:令和2年度森林づくり活動公募事業の企画書の審査

注) 第2回は、新型コロナウイルス感染症の影響で書面決議により実施。

令和元年度情報発信事業実施状況

○各種イベントでの情報発信

グリーンフェスティバル



R1. 5. 19 久留米市

ウッドフェスタ



R1. 10. 12 久留米市

○安全講習会

基礎講座編



R1. 6. 9 北九州市



R1. 6. 9 北九州市

手道具による間伐



R1. 10. 6 八女市



R1. 10. 6 八女市

○森林環境教育

子ども樹木博士



R1. 5. 17 篠栗町立篠栗小学校萩尾分校



R2. 2. 15 福岡市立百道浜小学校

森林に関する講話



R1. 11. 26 篠栗町立北勢門小学校



R1. 9. 7 芦屋町立山鹿小学校

ネイチャークラフト



R1. 5. 14 飯塚市立八木山小学校



R2. 1. 31 北九州市立小石小学校

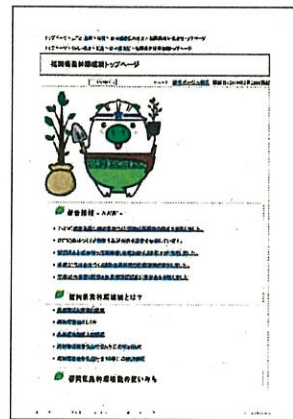
○その他

福岡県森林環境税リーフレット



福岡県森林環境税を活用した取組を紹介

県ホームページ



【URL】 <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/keepforest.html>

○福岡県森林環境税検討委員会

審議状況（第1回）



現地視察状況（第1回）



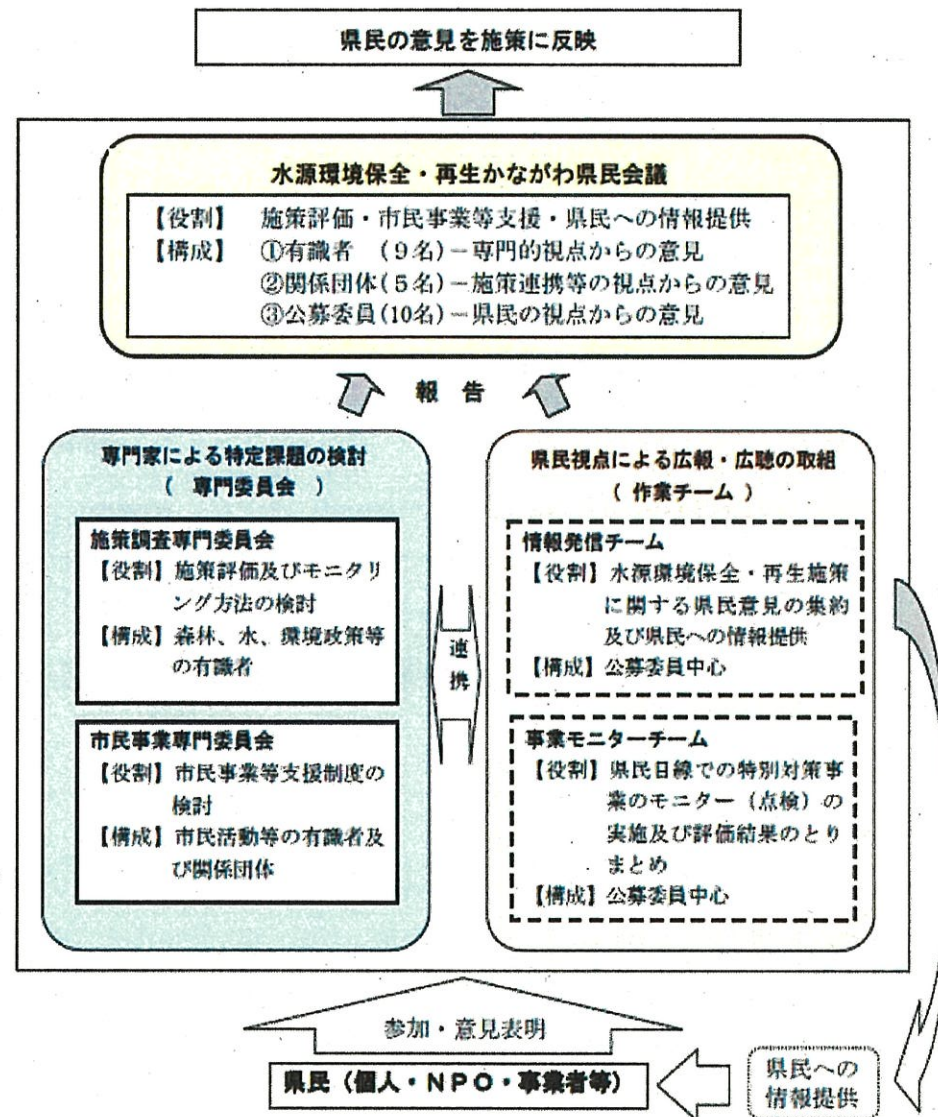
MEMO

# 神奈川県・事業

中柱	番号	事業名
森林の保全・再生	1	水源の森林づくり事業の推進
	2	丹沢大山の保全・再生対策
	3	土壌保全対策の推進
	4	間伐材の搬出促進
	5	◆地域水源林整備の支援
河川の保全・再生	6	◇河川・水路における自然浄化対策の推進
地下水の保全・再生	7	◇地下水保全対策の推進
水源環境への負荷軽減	8	◇生活排水処理施設の整備促進
県外上流域対策の推進	9	相模川水系上流域対策の推進
水源環境保全・再生を 推進する仕組み	10	水環境モニタリングの実施
	11	県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み
合 計		



# 水源環境保全・再生 かながわ県民会議



<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/pb5/cnt/f7006/p1188158.html>

# 委員構成(施策調査)

委員の氏名	所属・役職名等
吉村 千洋	東京工業大学環境・社会理工学院 准教授 【委員長】
土屋 俊幸	東京農工大学 名誉教授 【副委員長】
太田 隆之	静岡大学人文社会科学部 准教授
大沼 あゆみ	慶應義塾大学経済学部 教授
岡田 久子	明治大学農学部 講師
鈴木 雅一	東京大学 名誉教授
羽澄 俊裕	元東京農工大学農学部 特任教授

# 委員構成(市民事業)

委員の氏名	所属・役職名等
増田 清美	神奈川県政モニターOB会 副会長 【委員長】
谷本 有美子	神奈川県地方自治研究センター 研究員 【副委員長】
青砥 航次	特定非営利活動法人神奈川県自然保護協会 副理事長
石本 健二	神奈川新聞社 統合編集局次長兼編集総務部長兼紙面研究室長
稲垣 敏明	神奈川県森林組合連合会 代表理事専務

# 水源環境保全税による特別対策事業の 点検結果報告書(平成30年度概要版)

令和2年3月  
水源環境保全・再生かながわ県民会議



水源環境保全・再生  
イタージェキヤラクター  
かながわしずくちゃん

神奈川県では、水源環境保全税を財源として、水源地域の森林整備や生活排水対策などの事業（特別対策事業）を実施しています。

この資料は「水源環境保全・再生かながわ県民会議」が毎年作成している「特別対策事業の点検結果報告書（第3期・平成30年度実績版）」の概要版です。

## 特別対策事業の点検・評価結果（主な内容）

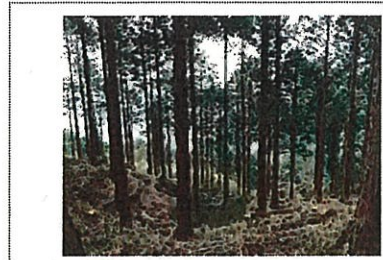
- 施策の点検・評価の役割を担う県民会議では、事業の進捗状況、モニタリングの調査結果、県民視点からの事業モニターや県民フォーラムの意見などを踏まえて11の特別対策事業の多面的な評価を行った。
- 第3期5か年計画の2年目となる平成30年度における11事業全体の事業費の執行状況ならびに事業進捗については、一部の取組を除き、概ね計画通りであった。
- 森林関係事業については、荒廃が進んでいた私有林で重点的に整備を行うとともに、丹沢大山地域やその周辺地域でシカ管理や土壌流出防止対策、フナ林再生のための調査研究など、様々な取組を進め、全体としては計画通りに進捗していた。この結果、下層植生が回復し、土壌保全が図られるなどの成果が出てきている。今後、森林の公益的機能を持続させるための対策やシカ対策の継続など、解決していくべき課題はあるものの、森林の保全・再生は、概ね順調に進められていると評価できる。
- 水関係事業については、河川・水路の自然浄化対策、地下水の保全対策、県内ダム集水域における生活排水処理施設の整備促進などを着実に進めてきた結果、河川の自然環境の改善や生活排水処理の進展など、一定の成果が見られている。
- 第3期からの新たな取組である「3 土壌保全対策の推進」の(1)水源林の基盤整備では、平成29年度は3箇所（4.3%）であった実績（進捗率）を、平成30年度に22箇所（崩壊地の対策工事を完了させ、2年目までの累計で25箇所（35.7%）まで進捗させるなど、平成30年度に取組を大きく前進させている。
- 県民会議では、第3期中における総合的な評価（中間評価）の実施及び次期（第4期）計画への意見書の作成に向け、県民意見の収集等を目的に平成30年度に県民参加型のワークショップを開催するとともに、施策の成果を定量的かつ分かりやすく示すため10の指標を設定し、今後の評価に活かすこととした。

「特別対策事業の点検結果報告書」や水源環境保全・再生施策の詳細な内容は、県ホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/>

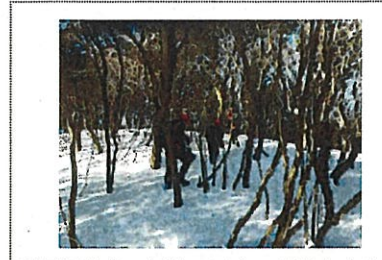
発行 水源環境保全・再生かながわ県民会議 問合せ先 神奈川県 環境農政局 緑政部 水源環境保全課 水源企画グループ  
電話 045-210-4358（直通） FAX 045-210-8855  
電子メール sui@genkikaku.d8w3@pref.kanagawa.jp

# 特別対策事業（11事業）の主な実施状況

(①～⑩は事業番号)



①水源の森林づくり 水源かん養など公益的機能の高い森林を目指し、間伐等の整備を行い林内は明るくなった。(秦野市 養毛)



②丹沢大山の保全・再生 丹沢大山やその周辺地域においてシカによる採食を防ぎ、植生を回復させ、土壌を保全するため、管理捕獲を行った。(箱根)



⑨相模川水系上流域対策 山梨県内の下水処理場に新たに設置したリンを取り除くための設備を稼動した。(山梨県 桂川清流センター)



⑩県民参加の仕組み 県民参加型のワークショップを開催し、水源環境保全・再生施策に関する県民意見の収集などを図った。(厚木市)



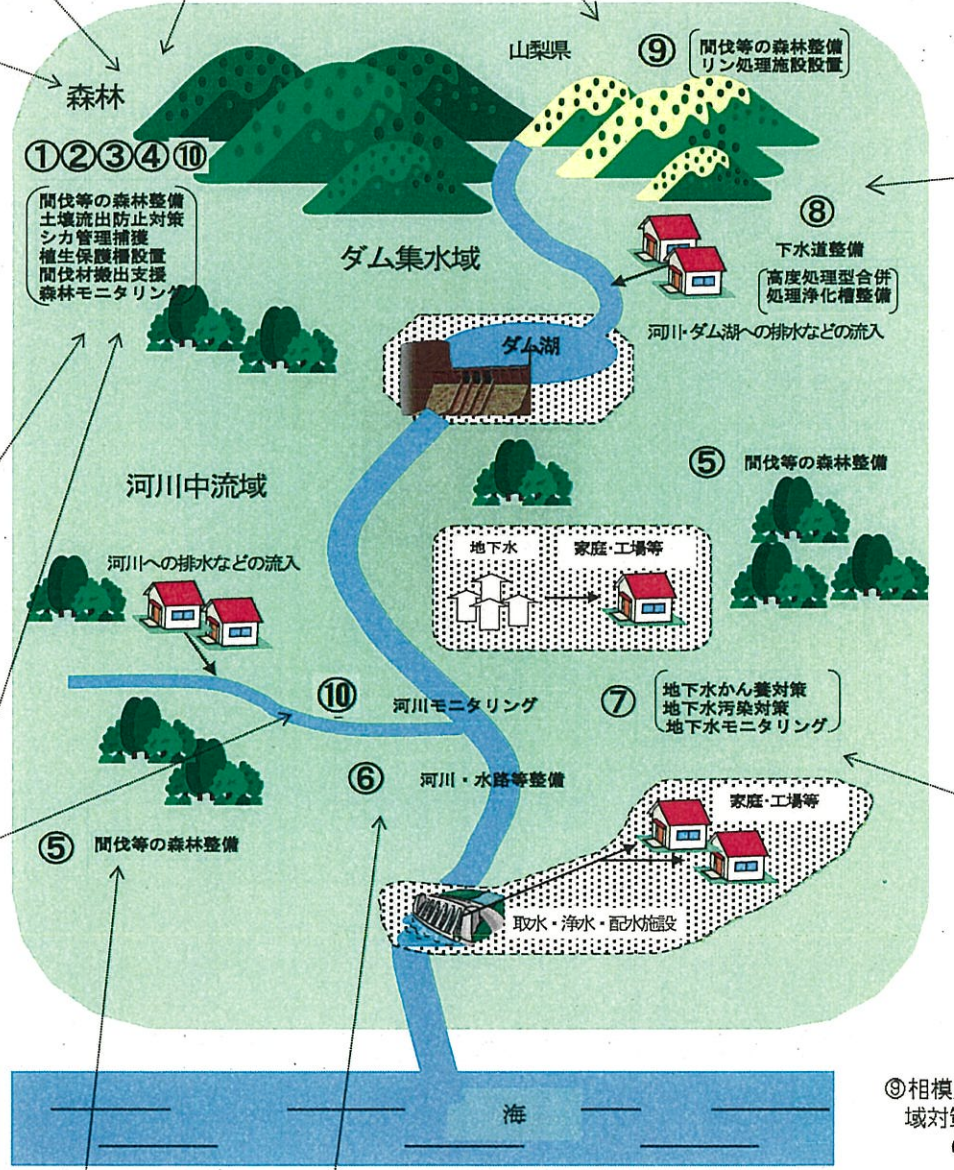
③土壌保全対策 水源林の基盤整備では土木的工法を用いて土壌保全対策を実施した。(秦野市)



④間伐材搬出促進 間伐材の有効利用を図るとともに、森林整備を循環させ、公益的機能の高い、良好な森林づくりを進めた。(湯河原町吉浜)



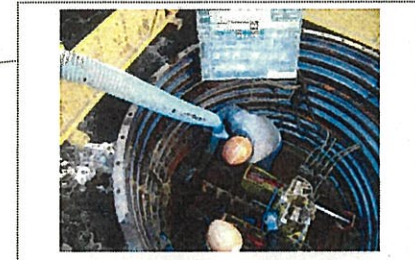
⑩水環境モニタリング 水量や水質、動植物相、土壌、土砂流出量などの変化を調査し、施策評価の長期的なデータを収集・解析した。(相模原市貝沢)



⑤地域水源林整備 整備後のスギ・ヒノキの人工林。目標林型を健全な人工林として、間伐などの整備を行った。(相模原市城山)



⑥河川・水路における自然浄化対策 自然石による護岸とし、生物の生息空間を確保した。(厚木市恩曾川)



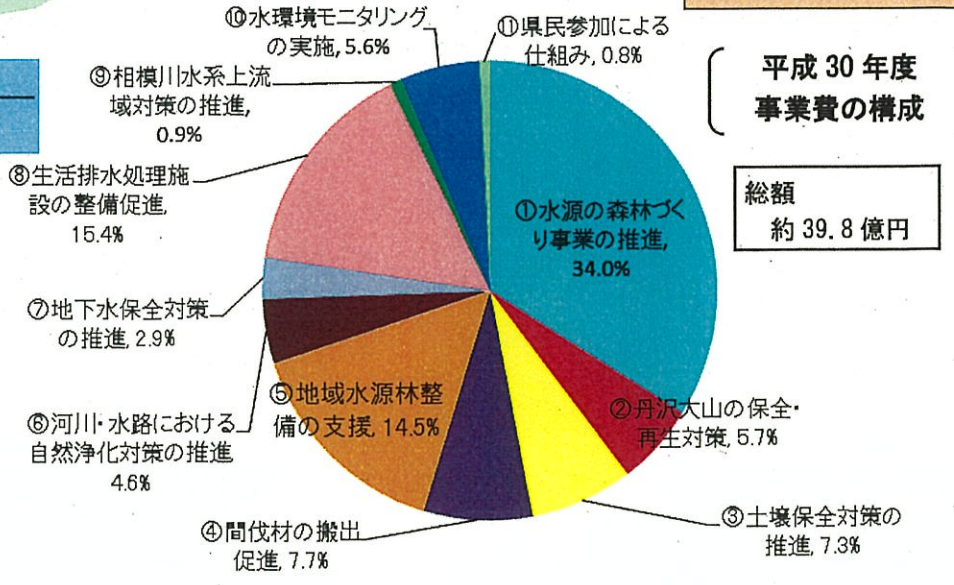
⑧生活排水処理施設の整備促進 (下水道・浄化槽) 推進工法 (道路を開削せず、トンネル状に掘削した穴に管を通す工法) により管を敷設した。(相模原市緑区)



⑦地下水保全対策 有機塩素系化学物質により汚染された地下水を施設の装置に通すことにより水質浄化を図った。(秦野市)

# 事業進捗状況

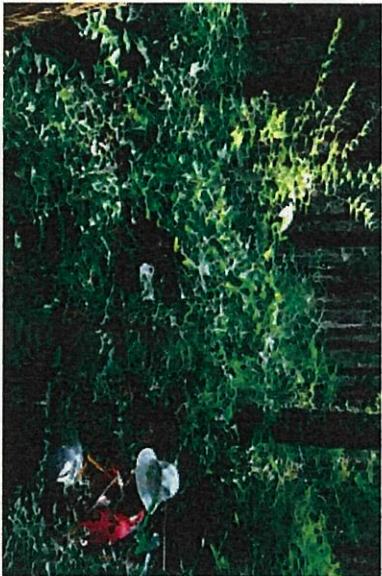
事業名	5か年(H29～R3)の事業費・目標等	平成30年度(2年目)までの進捗率(累計)
森林の保全・再生	【132億2,100万円】(年平均26億4420万円)	42.1%
① 水源の森林づくり事業の推進	62億4,400万円(一般会計上分含め128億7,500万円) (1) 水源林の確保 2,700ha (2) 水源林の整備 13,400ha (3) かながわ森林塾の実施(新規就労者の育成) 50人	45.4% (1) 53.0% (2) 46.2% (3) 32.0%
② 丹沢大山の保全・再生対策	12億5,200万円 (1) 中高標高域シカ管理捕獲 150箇所 (2) フナ林等の再生 (3) 県民連携・協働事業	38.0% (1) 49.3% (2) 取組実施 (3) 支援実施
③ 土壌保全対策の推進	13億1,000万円 (1) 水源林の基盤整備 70箇所 (2) 中高標高域の自然林 55ha (3) 高標高域の人工林 60ha	35.9% (1) 35.7% (2) 54.0% (3) 40.2%
④ 間伐材の搬出促進	15億5,000万円 (1) 搬出事業量 120,000m <sup>3</sup> (2) 生産指導事業量 50箇所	38.9% (1) 41.3% (2) 42.0%
⑤ 地域水源林整備の支援	28億6,500万円 (1) 私有林確保 840ha (2) 私有林整備 1,360ha (3) 市町村有林の整備 435ha (4) 高齢級間伐 100ha	41.1% (1) 40.4% (2) 33.3% (3) 49.0% (4) 33.0%
河川の保全・再生	【14億9,000万円】(年平均2億9,800万円)	27.5%
⑥ 河川・水路における自然浄化対策の推進	14億9,000万円 (1) 河川・水路の整備 10箇所	27.5% (1) 60.0%
地下水の保全・再生	【3億9,600万円】(年平均7,920万円)	56.6%
⑦ 地下水保全対策の推進	3億9,600万円 (1) 地下水保全計画の策定 (2) 地下水かん養対策 (3) 地下水汚染対策 (4) 地下水モニタリング	56.6% (1) 0市町 (2) 2市町 (3) 1市町 (4) 10市町
水源環境への負荷軽減	【34億8,300万円】(年平均6億9,660万円)	36.2%
⑧ 生活排水処理施設の整備促進	34億8,300万円 (1) 県内水源保全地域の生活排水処理率 (2) うちダム集水域の生活排水処理率	36.2% (1) 20.0% (2) 28.6%
水源環境保全・再生を支える取組	【14億6,000万円】(年平均2億9,200万円)	32.2%
⑨ 相模川水系上流域対策の推進	1億9,000万円 (1) 荒廃森林再生事業 (2) 広葉樹の森づくり事業 (3) 生活排水対策(放流水の目標全リン濃度 0.6mg/l以下)	36.6% (1) 42.8% (2) 4.8% (3) 0.51mg/l
⑩ 水環境モニタリングの実施	10億4,000万円 (1) 森林のモニタリング調査 (2) 河川のモニタリング調査 (3) 情報提供 (4) 酒匂川水系上流域の現状把握	32.8% (1) 実施 (2) 実施 (3) 実施 (4) 実施
⑪ 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	2億3,000万円 (1) 県民会議の運営等 (2) 市民事業等の支援	26.3% (1) 運営 (2) 実施
11事業全体事業費	200億5,000万円(年平均40億1,000万円)	39.5%



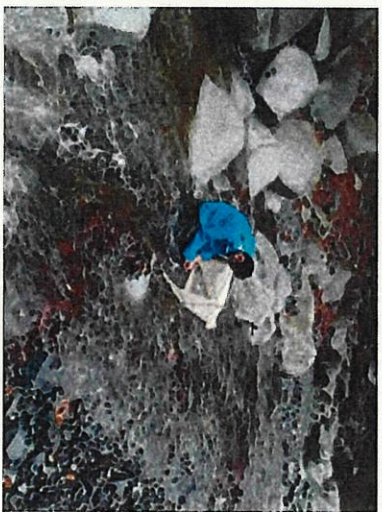
(進捗状況の補足説明)

- ・第3期5か年の2年目となる平成30年度の11事業全体の事業費の執行状況は、39.5%と概ね計画通りとなっている。
- ・⑧「生活排水処理施設の整備促進」については、整備が困難な箇所への対応や各家庭の個別事情など難しい課題も多いため、市町と連携して、より一層の整備促進を図る必要がある。
- ・⑨「相模川水系上流域対策の推進」の広葉樹の森づくり事業については、現地精査により、事業要件に適さない箇所が確認され、計画面積を減じたため、進捗率が4.8%にとどまっている。

## モニタリング調査による検証



森林生態系効果把握調査の状況（小田原市久野）  
箱根外輪山の整備後5年が経過したヒノキ林



河川の流域における動植物等調査の様子  
（玄倉川 ユーシントンロッヂ前）

## 県民会議による事業モニター



間伐材の搬出促進  
（秦野市）

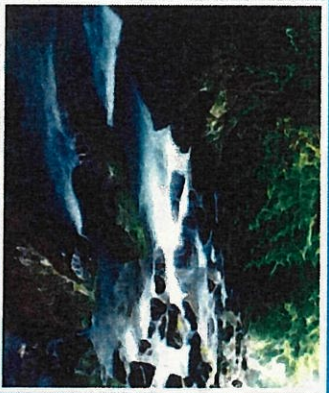


相模川水系上流域対策の推進  
（山梨県桂川清流センター）

## 水源環境保全税による特別対策事業の点検・評価

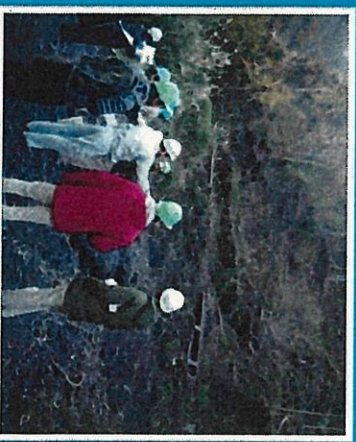
### 良質な水の安定的確保のために

県では、毎日の暮らしに不可欠な水資源を将来にわたり安定的に確保するため、平成19年度から、水のかん養や浄化などの機能を果たす森林の整備や、水質向上のための生活排水対策などの特別対策事業に取り組んでいます。また、その財源として、個人県民税の超過課税である「水源環境保全税」を活用しています。



### 県民会議による点検・評価

水源環境保全税を財源に行う施策に県民意見を反映させるため「水源環境保全・再生かながわ県民会議」が置かれています。県民会議では毎年「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」で位置付けている特別対策事業（11事業）の実施状況を点検・評価しています。また、結果を県民に情報提供するため「点検結果報告書」を作成しています。



# 佐賀県

(単位:円)

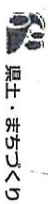
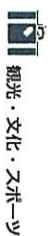
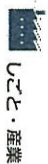
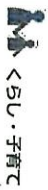
<p>県による 荒廃森林の再生</p>	<p>さぎの森林採光事業</p>	<p>●環境林内の荒廃した人工林を針広混交林へ誘導 -県と所有者との間で、伐採や開発等を条件とした10年間の協定を締結 -県が所有者に代わり、強度の間伐(伐採率40%程度)を実施 -整備面積 約241.34ha  【森林整備課】</p>	<p>県</p>	<p>180,287,333</p>
<p>市町による公有林化 及び公的管理</p>	<p>ふるさとの森林 づくり事業</p>	<p>●重要な森林のうち、荒廃した森林等の市町による公有化(購入)及び間伐などの管理を支援 -森林の取得経費(土地代・立木代)及び森林管理費を補助 -補助率 1/2以内(公有化) -取得面積 0ha -整備面積 50.01ha  【森林整備課】</p>	<p>市町</p>	<p>30,156,000</p>
<p>森林所有者等が行う 荒廃森林拡大防止</p>	<p>次代へつなぐ森林 再生事業</p>	<p>●林道等からの距離が遠いなど、条件が悪い森林における間伐に対して補助 -補助率 間伐:定額-68%以内 再造林:22%以内 下刈:32%以内 -整備面積 80.13ha  【林業課】</p>	<p>森林所有者等</p>	<p>13,681,370</p>

<p>県民の皆様からの 提案公募事業</p>	<p>県民参加の森林 づくり事業</p>	<p>●荒廃森林の再生につながる森林づくり活動等を支援し、県民協働による森林づくりを促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-CSO等が企画立案する森林づくり活動等に要する経費を補助</li> <li>-補助率 10/10以内(上限額200万円/年・団体)</li> <li>-審査委員会の開催</li> <li>-補助実績 13事業</li> </ul> <p>【森林整備課】</p>	<p>CSO等</p>	<p>9,210,925</p>
<p>県、市町、CSO等 による協働事業</p>	<p>未来へつなぐ宝の 森林整備事業</p>	<p>●佐賀県を代表する自然環境等を、県民みんなの協働により、維持や復元等を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-県、市町、CSO等が一体となり実施する森林植生の維持・保全等のために行う森林保全活動等に要する経費を補助</li> <li>-補助率 1/2以内</li> <li>-支援活動 虹の松原再生・保全活動</li> </ul> <p>【有明海再生・自然環境課】</p>	<p>協議会等</p>	<p>9,070,100</p>
<p>県民の皆様への 広報活動など</p>	<p>さがの森林 再生推進事業</p>	<p>●事業の紹介、提案公募事業の募集等を行い、森林についての県民意識の醸成と事業の推進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-ホームページの作成</li> <li>-パンフレット、チラシ、ポスターの作成</li> <li>-新聞への記事掲載 等</li> </ul> <p>【森林整備課】</p>	<p>県</p>	<p>4,864,654</p>

計

24,145,680





Foreign Language  防災  救急

背景色  標準  文字サイズ  拡大  標準  サイト内検索

- ホーム > 分類から探す > しごと・産業 > 農林水産 > 林業 > 令和元年度佐賀県森林環境税基金の収支をお知らせします
- ホーム > 分類から探す > しごと・産業 > 農林水産 > 林業 > 佐賀県森林環境税 > 令和元年度佐賀県森林環境税基金の収支をお知らせします
- ホーム > 組織(部署)から探す > 農林水産部 > 森林管理課 > 令和元年度佐賀県森林環境税基金の収支をお知らせします

### 令和元年度佐賀県森林環境税基金の収支をお知らせします

最終更新日：2020年12月18日 | 農林水産部 森林管理課 TEL：0952-25-7134 FAX：0952-25-7312 [shimnseib@pref.saga.lg.jp](mailto:shimnseib@pref.saga.lg.jp)

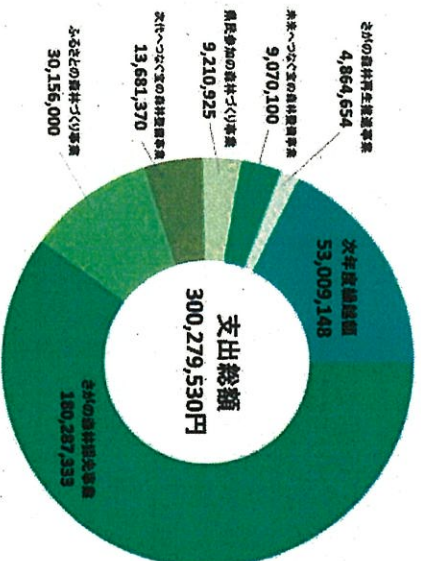
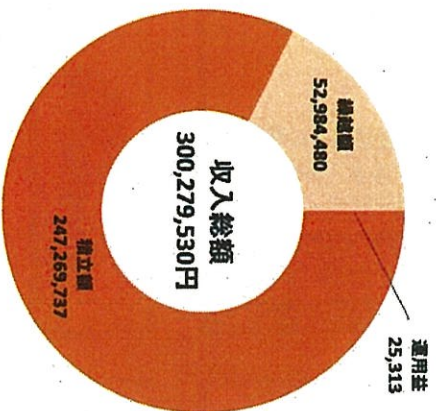
令和元年度における森林環境税基金の収入及び支出の実績は以下のとおりです。

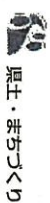
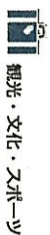
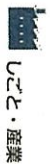
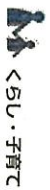
■ 収入

区分	金額 (単位：円)
積立額	247,269,737
繰越額	52,984,480
運用益	25,313
収入総額	300,279,530

■ 支出

区分	金額 (単位：円)
さかの森林観光事業	180,287,333
ふるさとの森林づくり事業	30,156,000
次代へつなぐ森林整備事業	13,681,370
県民参加の森林づくり事業	9,210,925
未来へつなぐ木の森林整備事業	9,070,100
さかの森林再生推進事業 (広報事業)	4,864,654
次年度繰越額	53,009,148
支出総額	300,279,530





Foreign Language

防災

救急

背景色  A  A  標準

文字サイズ

拡大  標準

サイト内検索



ホーム > 分類から探す > しごと・産業 > 農林水産 > 農林水産 > 林業 > 佐賀県森林整備課 > 県による荒廃森林の再生  
ホーム > 組織(部署)から探す > 農林水産部 > 森林整備課 > 森林整備課 > 県による荒廃森林の再生

県による荒廃森林の再生

### 県による荒廃森林の再生

最終更新日：2023年1月4日 | 農林水産部 森林整備課 TEL：0952-25-7134 FAX：0952-25-7312 [shonensei@pref.saga.lg.jp](mailto:shonensei@pref.saga.lg.jp)

#### 県による荒廃森林の再生

間伐等の森林整備が行われず、荒廃した人工林を対象に、県が森林所有者に代わって強度の間伐を実施し、針葉樹と広葉樹の混じりあった災害に強い森林に整備します。倒木や間伐材が流れ出す恐れがある箇所については、その除去等を行います。

#### さかの森林探光事業

【実施内容】

県境林内の荒廃した人工林において、県が森林所有者に代わって、通常よりも高い比率で樹木の一部を間引きする間伐（本数率40%程度）を実施します

【実施要件】

- ・ 荒廃した人工林がまとまった区域（荒廃林期）
- ・ 県と森林所有者との間で、森林の整備等を内容とする協定書が締結された森林であること、

【事業期間】

平成30年度から令和4年度

【全体計画】

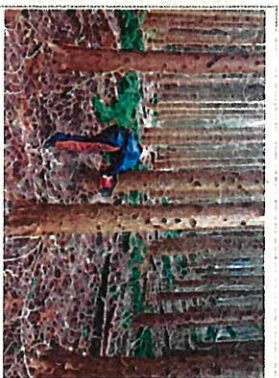
約1,800ヘクタール

【令和2年度事業計画】

事業量約200ヘクタール、予算額136,190千円



木の密集により日射しが入らず暗い森林内



間伐作業中



間伐されたことにより明るくなった森林内

第3期取組状況の紹介

令和元年度取組状況

施行地	現年	R2繰越 (見込み)		計
		令和元年度	令和2年度	
佐賀市 大和町 松瀬	8.04	-	-	8.04
佐賀市 三瀬村 三瀬	-	12.22	-	12.22
神埼市 脊振町 鹿路	39.53	1.26	-	40.79
唐津市 杵築・久里・夕日・双水	40.7	18.4	-	59.1
伊万里市 松浦町 掘川	25.21	23.86	-	49.07
武雄市 若木町 川古・本部	21.07	-	-	21.07
江北町 山口	1.84	-	-	1.84
唐野市 唐野町 下野・吉田	40.03	-	-	40.03
唐野市 埴田町 谷所	10.17	-	-	10.17
整備面積計	186.59ha	55.74ha	-	242.33ha

単位:ha

令和元年度取組状況 (位置図) (PDF: 125.7キロバイト)

実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業量	132.22ha	242.33ha			
事業費	137,896千円	180,287千円			

平成30年度取組状況 (PDF: 125.7キロバイト)

第2期取組状況の紹介

環境林名	関係市町	事業面積				
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
天山	佐賀市・唐津市 多久市・小城市	48.12ha	47.75ha	27.66ha	15.51ha	16.92ha
北山夕ム周辺	佐賀市	25.00ha	47.93ha	27.92ha	49.99ha	22.77ha
脊振山麓	神埼市・上峰町 吉野ヶ里町	17.53ha	32.65ha	16.29ha	31.84ha	-
基山	基山町・鳥宿市	16.13ha	32.16ha	52.90ha	15.35ha	26.57ha
鏡山・伊岐佐夕ム周辺	唐津市	-	67.25ha	39.99ha	53.14ha	109.38ha
八幡岳～六角川周辺	唐津市・伊万里市 武雄市・大町町 江北町	47.75ha	68.99ha	97.04ha	69.79ha	99.13ha
玉島川周辺	唐津市	67.53ha	5.22ha	-	-	1.89ha
腰岳・青嶽山	伊万里市・武雄市	16.72ha	44.93ha	41.70ha	57.87ha	30.84ha
杵島山	白石町	14.25ha	12.52ha	11.58ha	22.30ha	-
総ヶ岳・虚空蔵山	唐津市・唐野市	61.57ha	65.04ha	62.78ha	26.75ha	59.30ha
合計	10市6町	314.60ha	424.44ha	377.86ha	342.54ha	366.80ha
事業費		144,432千円	171,395千円	180,995千円	187,048千円	178,373千円



暮らし・子育て

健康・福祉

しごと・産業

観光・文化・スポーツ

県土・まちづくり

県政情報

Foreign Language

防災

救急

背景色  A  A 標準

文字サイズ  拡大  標準

サイト内検索



ホーム > 分類から探す > しごと・産業 > 県林産課 > 林業 > 市町による公有林化及び公的整備への支援  
ホーム > 組織(部署)から探す > 農林水産部 > 森林整備課 > 市町による公有林化及び公的整備への支援

### 市町による公有林化及び公的整備への支援

最終更新日：2020年12月21日 | 農林水産部 森林整備課 TEL：0952-25-7134 FAX：0952-25-7312 [shinri@pref.saga.lg.jp](mailto:shinri@pref.saga.lg.jp)

#### 市町による公有林化及び公的整備への支援

水害のかん養や土砂災害の防止等の公的機能の発揮が期待される重要な森林で、荒廃した森林又はその恐れのある森林について、市町による公有林化を進め、適切な森林整備を図ることにより、森林の公的機能の維持増進を目指します。

#### ふるさとの森林づくり事業

市や町が行う、荒廃した森林またはその恐れのある森林の公有化（購入）及び間伐などの公的整備に対し必要な経費を支援します。

〔事業主体〕  
市町

〔補助率〕  
公有林化：取得価格の1/2  
公的整備：経費の10/10

〔実施要件〕

- 水源地や人家、公共施設等の上部に位置すること
- 森林所有者による整備が実施されていない森林であること
- 取付面積が1ha以上の森林であること
- 市町村森林整備計画において、公的又は公的に管理・整備を推進していく必要がある森林として位置付けられた森林であること など

〔事業期間〕  
平成30年度から令和4年度

〔全体計画〕  
公的整備：約200ヘクタール

〔令和2年度事業計画〕  
公的整備約51ヘクタール、予算額30,200千円



間伐前



間伐後(多久市)

第3期取組状況の紹介

- 令和5年度 多久市、小城市、鳥栖市、唐津市、武雄市、鹿島市、太良町、有田町、計50ヘクタールの間伐などの公的整備を支援しました。
- 平成30年度 多久市、小城市、鳥栖市、唐津市、武雄市、鹿島市、太良町、有田町、計48ヘクタールの間伐などの公的整備を支援しました。

実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
補助額	30,846千円	30,156千円			

第2期取組状況の紹介 (重要森林公有化等支援事業)

- 平成29年度 佐賀市、多久市、小城市、鳥栖市、唐津市、武雄市、嬉野市、鹿島市、太良町、有田町、計132ヘクタールの間伐などの公的整備を支援しました。
- 平成28年度 佐賀市、多久市、小城市、鳥栖市、唐津市、武雄市、嬉野市、鹿島市、太良町、有田町、計68ヘクタールの間伐などの公的整備を支援しました。
- 平成27年度 佐賀市、多久市、小城市、唐津市、武雄市、嬉野市、鹿島市、太良町、有田町、計135ヘクタールの間伐などの公的整備を支援しました。
- 平成26年度 佐賀市、多久市、小城市、唐津市、武雄市、嬉野市、鹿島市、太良町、有田町、計66ヘクタールの間伐などの公的整備を支援しました。
- 平成25年度 佐賀市、多久市、小城市、唐津市、武雄市、嬉野市、鹿島市、太良町、計57ヘクタールの間伐などの公的整備を支援しました。

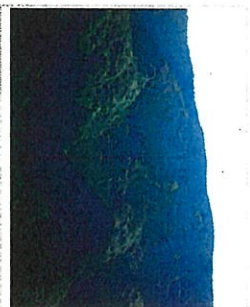
実施年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
補助額	32,941千円	33,488千円	21,439千円	42,580千円	60,490千円

第1期取組状況の紹介

- 平成24年度 多久市、神埼市、唐津市、伊万里市、有田町、武雄市、白石町、計89ヘクタールの間伐などの公的整備を支援しました。
- 平成23年度 多久市、武雄市、小城市、神埼市、伊万里市、唐津市、白石町、有田町、計49ヘクタールの間伐などの公的整備を支援しました。
- 平成22年度 太良町 (多良岳) 水源地域となっている森林85ヘクタールの購入を支援しました。
- 平成21年度 佐賀市 (関屋) と太良町 (多良岳) の水源地域となっている森林計94ヘクタールの購入を支援しました。
- 平成20年度 太良町 (多良岳) 水源地域となっている森林56ヘクタールの購入を支援しました。



佐賀市



太良町

公有林化された関屋地区 (佐賀市) と多良岳山麓 (太良町) の森林

このページに関するお問い合わせは  
 森林次官室 森林整備課  
 電話：0952-25-7134  
 ファックス：0952-25-7312  
 ✉ [shininselbi@pref.saga.lg.jp](mailto:shininselbi@pref.saga.lg.jp)

(ID:19993)



※資料としてPDFファイルが添付されている場合は、Adobe Acrobat(R)が必要です。  
 PDF機能をご覧になる場合は、Adobe Readerが必要です。正しく表示されない場合は、最新バージョンをご利用ください。

PDFをダウンロード

あなたが最近電子化したページ

- 2020年12月18日更新 [令和5年度佐賀県森林環境改善基金の収支をお知らせします](#) [【開封】](#)
- 2021年1月4日更新 [県による重要森林の再生](#) [【開封】](#)
- 2021年1月4日更新 [「佐賀県森林環境県民」についてお知らせします](#) [【開封】](#)

[「ここでの履歴を削除」](#)

ページの先頭へ

ホームページについて [掲載 \(チラシ\)](#) サイト [リンク集](#) [サイトマップ](#)

### 森林所有者等による荒廃森林の拡大防止事業

最終更新日：2020年12月21日 | 農林水産部 森林整備課 TEL：0952-25-7134 FAX：0952-25-7312 [✉ shinenseki@pref.saga.lg.jp](mailto:shinenseki@pref.saga.lg.jp)

#### 森林所有者等による荒廃森林の拡大防止

地理的条件が悪い森林における撤出間伐や間伐しても良好な成長が見込めない森林において行う再造林、下刈等を支援することで、荒廃森林の拡大を防ぎます。

#### 次代へつなぐ森林再生事業

〔事業主体〕

森林所有者、林業事業体 等

〔実施内容〕

- 地理的条件が悪く、撤出量が少ない間伐に対する補助
- 国庫補助の対象とならない自力等で行う間伐に対する補助
- 荒廃森林を皆伐した後に行う再造林、下刈に対する補助

〔対象森林〕

生育条件や地理的条件が悪い森林や間伐してより良好な生育が見込めない森林等

〔事業期間〕

平成30年度から令和4年度

〔全体計画〕

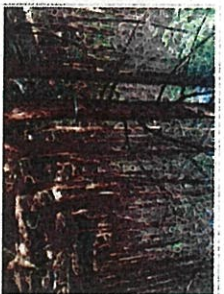
約830ヘクタール

〔令和2年度事業計画〕

約165ヘクタールに対するの補助、予算額13,600千円

〔補助率〕

- 間伐：定額・68%以内
- 再造林：22%以内
- 下刈：32%以内



提出関係の状況

開伐前

開伐後

第3期取組状況の紹介

実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業量	38ha	60ha			
事業費	7,639千円	13,681千円			

第2期取組状況の紹介（荒廃森林拡大防止対策事業）

実施年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業量	278ha	157ha	96ha	25ha	33ha
事業費	14,788千円	9,037千円	4,219千円	1,178千円	1,651千円

関連資料

- PRチラシ① (PDF: 278.1キロバイト)
- 次代へつなぐ森林再生事業補助金交付要領 ① (PDF: 40.6キロバイト)
- 次代へつなぐ森林再生事業補助要領 ② (PDF: 377.6キロバイト)

農林水産部 森林整備課  
 電話：0952-25-7134  
 ファックス：0952-25-7312  
 ✉ [shininselbi@pref.saga.lg.jp](mailto:shininselbi@pref.saga.lg.jp)

(ID:13530)

☞ このマークがついているリンクは別ウインドウで開きます



※資料としてPDFファイルが添付されている場合は、Adobe Acrobat(R)が必要です。  
PDF書類をご覧になる場合は、Adobe Readerが必要です。正しく表示されない場合は、最新バージョンをご利用ください。

PDFをダウンロードする

ページの先頭へ

ホームページについて 携帯（ガラケー）サイト リンク集 サイトマップ

佐賀県庁(法人番号 1000020410004) 〒840-8570 佐賀市城野1丁目1-59 Tel:0952-24-2111 (代案)

Copyright © 2016 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

### 県民の皆さんからの提案公募事業

最終更新日：2020年12月21日 | 農林水産部 森林整備課 TEL：0952-25-7134 FAX：0952-25-7312 [E: shinrinseibu@pref.saga.lg.jp](mailto:shinrinseibu@pref.saga.lg.jp)

#### 県民参加の森林づくり事業

〔事業内容〕

県民の皆様が荒廃森林の再生を目指して、自ら企画・立案し取り組まれる「森林づくり活動」を支援します。

〔活動例〕

- ・ 荒廃した森林での植樹活動
- ・ 除伐・枝打ち活動
- ・ 人工林への侵入竹の除去
- ・ 植栽地の下刈り など

〔事業主体〕

県内に事務所等を有しているNPO法人、ボランティア団体、自治会、労働組合、PTA、学校など

〔実施要件〕

提案された企画内容が事業の趣旨に沿っており、効果的なものであることが審査委員会で認められたもの。

〔事業期間〕

平成30年度から令和4年度

〔全体計画〕

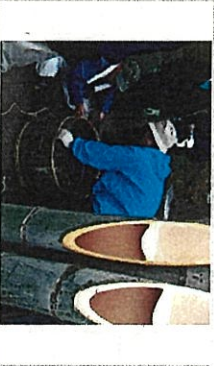
5年間で、50団体への補助を予定

〔補助額〕

1団体当たり年間200万円以内



人工林に侵入した竹の伐採



伐採した竹で門松づくり



子どもたちへの森林教育活動



広葉樹の植栽



お知らせ

県民参加の森林づくり事業の要綱の一部改正をしました。

県民参加の森林づくり事業の要綱を令和2年10月30日付で一部改正しました。

詳しくは、下記の添付ファイルをご参照ください。

 [【改正版】補助金交付要綱2020.10.30 戸](#) (PDF : 195.9キロバイト)

 [【改正版】補助金交付要綱 \(様式\) 2020.10.30 戸](#) (PDF : 148.9キロバイト)

第3期取組状況の紹介

実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費 (事務費除く)	4,092千円	9,179千円			
活動団体数	13団体	13団体			
のべ活動者数	1,887人	2,877人			

- 令和元年度の選挙結果及び採択事業・実績
- 平成30年度の選挙結果及び採択事業・実績

第2期取組状況の紹介

実施年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費 (事務費除く)	8,537千円	9,188千円	9,805千円	10,842千円	8,136千円
活動団体数	9団体	12団体	15団体	21団体	20団体
のべ活動者数	1,893人	2,973人	2,940人	3,718人	3,331人

- 平成29年度の選挙結果及び採択事業・実績
- 平成28年度の選挙結果及び採択事業・実績
- 平成27年度の選挙結果及び採択事業・実績
- 平成26年度の選挙結果及び採択事業・実績
- 平成25年度の選挙結果及び採択事業・実績

第1期取組状況の紹介



暮らし・子育て

健康・福祉

しごと・産業

観光・文化・スポーツ

県土・まちづくり

県政情報

Foreign Language

防災

救急

背景色 **A A** 標準

文字サイズ **大** 標準

サイト内検索



ホーム > 分類から探す > しごと・産業 > 森林水産業 > 林業 > 佐賀県森林環境投資 > 県、市町、CSOなどによる協働事業  
ホーム > 組織(部署)から探す > 県民生活部 > 森林環境部 > 森林環境課 > 県、市町、CSOなどによる協働事業

### 県、市町、CSOなどによる協働事業

最終更新日：2020年12月21日

#### 県・市町・CSO等による協働事業

佐賀県を代表する自然環境の観点から、県、市町、CSO等の協働により、特に重要な森林の維持や復元を図ります。

#### 未来へつなぐ宝の森林整備事業

〔実施内容〕 佐賀県を代表する「虹の松原」の維持や保全、潜在する自然再生の復元のために必要な森林保全活動等に要する経費を支援します



日本三大松原の一つ「虹の松原」

〔事業主体〕 県、市町、CSO等で組織する団体

〔実施要件〕 事業主体により、森林の維持・復元を図るための計画が立てられていることなど

〔事業期間〕 平成30年度から令和4年度

〔令和2年度事業計画〕 虹の松原再生・保全事業支援 予算額7,500千円

#### 取組状況の紹介

松葉かきなど松林の保全活動や整備を行った「虹の松原保護対策協議会」の活動を支援しました



〔活動参加者数の推移〕

- 令和元年度 7,638人
- 平成30年度 7,196人
- 平成29年度 7,140人
- 平成28年度 6,999人
- 平成27年度 6,695人
- 平成26年度 6,281人
- 平成25年度 5,952人
- 平成24年度 5,266人
- 平成23年度 5,013人
- 平成22年度 2,827人
- 平成21年度 586人
- 平成20年度 73人

1事業（補助対策事業）虹の松原再生・保全事業

実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業量	56ha	56ha			
事業費	7,500千円	9,070千円			

1事業（補助対策事業）虹の松原再生・保全事業

実施年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業量	54ha	56ha	56ha	56ha	56ha
事業費	7,493千円	7,498千円	7,500千円	7,500千円	8,146千円

このページに関するお問い合わせ

(ID:19500)

あなたが最近アクセスしたページ		すべての履歴を削除	
2020年12月18日更新	令和元年度佐賀県県民森林環境税基金の収支をお知らせします <a href="#">【開閉】</a>		
2020年12月21日更新	県民の皆さんからの提案公募事業 <a href="#">【開閉】</a>		
2020年12月21日更新	森林所有者等による荒廃森林の除去防止事業 <a href="#">【開閉】</a>		
2020年12月21日更新	市町による公有林化及び公約整備への支援 <a href="#">【開閉】</a>		
2021年1月4日更新	県による荒廃森林の再生 <a href="#">【開閉】</a>		

ページの先頭へ

ホームページについて 携帯（ガラケー）サイト リンク集 サイトマップ

佐賀県庁(法人番号 1000020410004) 〒840-8570 佐賀市城内1丁目1-59 Tel:0952-24-2111 (代表)



[M](#) <らじ・子育て > [健康・福祉](#) [しごと・産業](#) [Foreign Language](#) [防災](#) [救急](#) [背景色](#) [A](#) [A](#) [標準](#) [文字サイズ](#) [拡大](#) [標準](#) [サ小内検索](#) [県土・まちづくり](#) [県政情報](#)

さかの森林再生推進事業

最終更新日：2020年12月21日

さかの森林再生推進事業

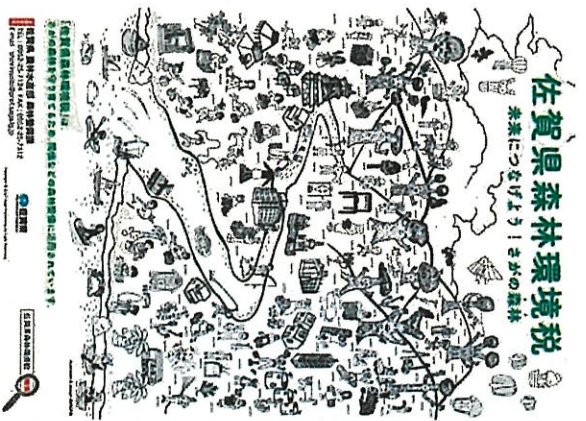
森林環境税やその税を活用した事業の普及啓発に努めるとともに、水質源を育む森林の大切さなど、県民意識の醸成と事業の円滑な推進を図ります。

〔事業主体〕  
県

〔事業期間〕  
平成30年度から令和4年度

〔令和2年度事業計画〕  
予算額は5,169千円

- ・ パノラマ・チラシの作成
- ・ 広告物の作成
- ・ 新聞への記事掲載
- ・ ホームページの運営管理
- ・ その他、広報媒体を活用したPRの実施など



第3期取組状況の紹介

実施年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	4,971千円	4,864千円			

